

九州地区大学図書館協議会誌

第 63 号

2020

九州地区大学図書館協議会

目 次

【巻 頭 言】

with コロナ時代の図書館への期待 梶 原 誠 司 . . . 1

【寄 稿 論 文】

九州工業大学附属図書館における探求型科目への支援の取り組み
. 近 藤 由 美、瀬 川 絃 子 . . . 3

【図 書 館 紹 介】

宮崎大学附属図書館（本館） 8
宮崎大学附属図書館医学分館 12

【加盟館ニュース】 15

【図書館活動報告】 37

【事務局報告】 44

【協議会総会記録】 46

【資 料】

九州地区大学図書館協議会会則 51
九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則 52
九州地区大学図書館協議会入会に関する細則 53
九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規 57
九州地区大学図書館協議会表彰規程 57
研修会の補助に関する申合せ 62
副幹事館の役割 64
九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について 64
加盟館一覧 66
役員館一覧 70
総会当番館一覧 75

【with コロナ時代の図書館への期待】

九州工業大学附属図書館長 梶原誠司

はじめに

2020年は、新型コロナウイルスが世界中に猛威を振るった年として歴史に刻まれるであろう。本学の図書館も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、キャンパス立入禁止に伴う入館停止や、それに伴う貸し出し本の予約制や郵送サービス等を行った。入館停止が解除された後も通常行っているサービスの提供は大きな制約を受け、3密を避けながら本来持つべき機能をどのように維持していくかに苦心している。この原稿を執筆している現在も、国内に感染拡大の第3波が到来しているといわれ、収束の兆しは見えていない。ほとんどの大学図書館で、図書の閲覧席や学習スペースの利用制限、滞在時間の制限等の措置が執られている。感染拡大を防ぐための対処方法に関する情報の質・量とも上がっていく中で、短期的なサービス改善は進むであろうが、中長期的な視点でも、図書館は大きく変貌を遂げる可能性がある。そこで、少し中長期的な視点に立って、大学図書館の今後について展望してみたい。

大学教育への影響

大学図書館について言及する前に、大学教育への影響について触れておきたい。コロナ禍で、授業のオンライン対応が否応なく一気に進んできた。その功罪を議論した知見も集まり始め、これまでの対面授業では得られないオンライン授業ならではの効果も得られることもわかってきた。そのため、オンライン授業は不可逆的な流れとな

って、コロナ禍が収束しても部分的には継続されるであろう。

また、授業等の学習管理のためのLMSの活用も進んできた。これまでは、せいぜい授業資料の配付や課題の収集程度にしか利用していなかったところ、否応なしにオンライン対応することになった結果、これまでは使用していなかったLMSの諸機能（例えば小テストやアンケート等）を活用し始めた教員も多いのではないだろうか。こうしたシステムの活用を含め、コロナ禍をきっかけに導入された対応の中には、今後も継続して定着していくものも多くあると思われる。

大学図書館への影響

では、大学図書館は、コロナ禍の影響を受けて、今後どのように変わっていくのだろうか。図書館は元々、人（利用者や職員）が集まってくる場ではあった。比較的静寂といえども人と人との接触を少なくすることは避けられず、図書館にもDXの波は打ち寄せてくる。これまでのように来館して図書館のサービスを楽しむことは少なくなり、大学の授業と同様にオンラインでのサービスが拡張するのは必至である。例えば、本の貸し出しも、印刷・製本されたものより、電子書籍等の電子コンテンツがあるならそちらにシフトしていくであろう。そのため、今後、電子書籍を蔵書として充実させていくことは加速すると予想される。

学術雑誌や学術論文の電子化は既に広く浸透しており、むしろ電子ジャーナルの契

約料が高騰し大学の財政を圧迫する事が問題視されている。一方で、授業の教科書に使われる書籍の電子化はまだそれほど普及しているとはいえない。洋書はまだしも、特に学部授業の教科書で使用されるような和書の電子化の普及はまだまだこれからというのが現状だと思われる。しかしながら、電子化が進むと貸し出し管理の効率化等メリットは大きく、一旦進むと定着して行くであろう。

また、現在は図書館内に新聞や雑誌を置いて、利用者がそれらを自由に閲覧できるスペースがある。しかし、既に多くの新聞や雑誌はwebで閲覧でき、電子図書館のサービスも始まっている。そのようなサービスが導入されると、図書館に紙媒体の新聞や雑誌を置いておく必要はなくなるが、利用者は図書館に出向かなくても研究室や自宅からでも閲覧できるようになり、図書館の利便性が向上するきっかけとなりうる。



図書館の雑誌等の閲覧スペース(筆者撮影)

おわりに

コロナ禍はデジタル化が遅れていると言われる日本社会に多大な影響を与えており、大学の教育現場に急激な変革をもたらしてきた。大学図書館も現在はコロナ禍の収束を待って従来行っていたサービスの復活を目指しているが、電子図書館のような取り

組みは必須となるであろう。契約や予算の工面の問題から、大学の遠隔授業のように年度途中にある日突然切り替えることは容易でないが、利用者の理解を得ながらコロナ禍を克服しサービスの向上に努めていきたい。

【九州工業大学附属図書館における探求型科目への支援の取り組み】

九州工業大学附属図書館
近藤 由美 瀬川 紘子

はじめに

九州工業大学附属図書館では、2016 年度から探求型科目への授業支援として、課題レポートの「テーマ」設定に焦点を当てた授業と、「検索キーワード」に着目した授業を実施している。本稿では、その授業内容や、検討する際に考慮した点、今後に向けての改善点について述べていきたい。

(1) 九州工業大学における探求型科目とは

九州工業大学の人文社会系教養教育のうち図書館が授業支援を行っている探求型科目では、国際バカロレア (International Baccalaureate, IB) 機構が提供する教育プログラムで実施されている探求学習の方法が導入されている。この学習方法は、「質問を提示し、批判的思考や課題解決に取り組む」⁽¹⁾というものである。この学習方法を取り入れた背景のひとつに、IB の教育プログラム (Diploma Program, DP) を修了し、統一試験に合格して資格を取得した者を対象とした入試が導入されたことがあげられる。IB では、「多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的」⁽²⁾とし、そのために特徴的な教育プログラムを開発実施している。そのプログラムには、「知識の本質」について考え、「知識に関する主張」を分析し、知識の構築に関する問いを探求する「知の理論 (TOK: Theory of Knowledge)」科目⁽³⁾や、生徒自身が課題を決め、自分で調査・研究した結果を論文にまとめる「Extended Essay

(EE:課題論文)」といった科目がある。探求型科目の実施は、このような教育経験を背景にもつ IB 資格保有学生と従来の教育を受けた学生との学習成果に大きな差が生まれることを防ぐため企図された。

(2) 図書館と教養教育

IB のプログラムにとって探求学習の基盤となる図書館の教育支援は不可欠である⁽⁴⁾。このことは、国際バカロレア機構でも、IB の認定校に対してリソースを継続的に改善することや、グローバルな課題や多様な物の見方についてのリソースがあることなどを求めていること、司書の役割について、学習を支援するリソース選択のサポートや引用・参考文献の書き方などの技術的スキルの促進などで重要な役割を果たすことができる⁽⁵⁾、としていることなどから伺える。そのため、図書館として学習者が求めるツールやリソースの継続的な提供、蔵書のアドヴァイス、参考となる資料を収集した特設コーナーの設置など、より積極的に教育へ関わる事が求められている。加えて、本学の探求型科目は、1 クォーター8 コマという短期間で実施されるため、十分な学習成果を得るには、図書館との連携が効果的であるという認識を担当教員に持ってもらえたことも今回の授業支援につながったと考える。

(3) 九州工業大学附属図書館による探求型学習支援の事例

以上のような背景から、2016 年に探求型科目「西洋社会史」「歴史学」に対して、教養教育

を担当する教員から図書館へ授業支援依頼があり、それぞれ1コマを図書館職員が担当することになった。授業実施前に行った教員へのヒアリングでは、「そもそもどんなテーマでレポートを書いてよいか分からない」、「関連する図書を見つけることができず、インターネット上の情報だけに頼ってしまう」学生が多く、教員だけで授業内にサポートすることは困難である、という課題が見えてきた。これらの課題は、検索システムなどの使い方を説明するような従来のリテラシー授業では解決が難しいと判断し、課題レポートの「テーマ」設定に焦点を当てた授業と、「検索キーワード」に着目した授業を実施することにした。さらに、学部1・2年生が主な受講生である科目と学部3年生や院生が主な受講生である科目にわけ、それぞれの学年に応じた授業内容とした。

まず、学部1・2年生向けの授業では、課題レポートの「テーマ」設定、つまり探求学習の初めのステップである「問い」を設定するための情報収集に重点を置くことにした。ここで言う「問い」とは、与えられた話題から各自の興味関心に応じて調べたいと思う内容を指す。この学年は、レポート作成が初めてまたは不慣れた学生が多く、何について調べたいか不明確なまま情報収集やレポート執筆を行う傾向にある。このような状態では、レポートを書く上で必要な情報について見当をつけることができず、WEBサイトの検索や闇雲な図書検索で終わってしまいかねない。授業では、「ジャパンナレッジ Lib」や「コトバンク」といったWEB上の事典ツールを使って与えられた話題に関する概要を調べ、そこで得た情報を可能な限り時系列順にイメージマップ(図1)に書き込むという方法を取り入れた。マップを作成することで、情報整理ができるだけでなく、次のステップである情報収集時の検索キーワードとしても使えるようにしている。学生の取り組み状況をみると、30分程度の短い調査時間ながら各自自由に調査を進め、多様な話題に広がっている

学生が多く見受けられる。中には、そのままレポートの章立てに使えるのではないかというほど系統だったマップを作成している例もある。調査にてこずっている学生に対しては、教員と図書館職員が個別に相談に応じ調査のアドバイスをを行っている。この個別のアドバイス対応は、例えば「工業化と発展」という話題からどんなキーワードを使って情報収集してよいか途方に暮れている学生には特に有効で、教員からは好評を得ている。

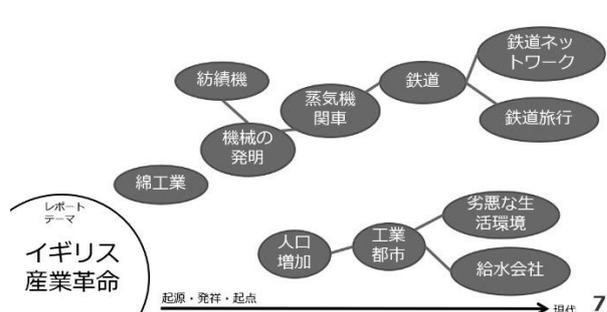


図1 イメージマップの例

次に、学部3年生や院生が主な受講生となっている授業では、ある程度レポートを書き慣れているので「テーマ」設定はできること、既に図書館のリテラシー授業で検索ツールの基本的な使い方は学んでいることを踏まえ、検索時に必要となるスキルの一つ「検索キーワードの作り方」に関して説明を行うことにした。授業の中では、類語辞典やシソーラス辞典などを使い、検索キーワードを類義語や上位語・下位語で整理する方法とそれらを組み替えて検索する方法を解説している。例えば、「カレンダー」というキーワードを整理して図2のような表をつくり、「カレンダー」の代わりに「暦」と入れて検索してみる。すると、「カレンダー」で検索した時にはヒットしなかった図書や論文を見つけることができるといったように、検索キーワードの入れ替えや複数キーワードの組み換えを行えば新しい資料が見つかるという経験を、授業を通して積んでもらえるようにした。30-40分ほどの演習時間をとり学生自身に

各自のレポートテーマでキーワードの整理と資料検索を行ってもらうが、少なくとも2、3点の本や論文を見つけることができている。

また、両授業共、工業大学の附属図書館という特質から、十分な資料を得られない場合が想定されるため、公共図書館など外部図書館の利用を推奨している。そこで、図書館システム改修時には、本学 OPAC で検索した検索条件をそのままカーリルに引き継いで検索できる仕組みを導入するなど、ハード面でも工夫した(図3)。

以上のような取り組みを行った結果、以前よりもポイントが絞り込めた内容のレポートや多様な資料を利用して作成されたレポートが増えたと担当教員から評価され、2019年までに、支援対象科目が学部向け4科目、大学院修士課程向け2科目の計6科目に広がっている。また、演習中は随時図書館職員や担当教員が調査の相談に応じアドバイスをを行っているため、学生の躓きを把握しやすい。今後は、学生が躓きやすいポイントの分析や提出されたレポートをチェックすることで、説明内容や使用するワークシートの見直しを継続的に進め、教員が求める水準のレポート作成に至るよう支援を強化したい。

また、このような授業が実施できているのは、表1にある「附属図書館学術情報リテラシー教育体系」に基づき、正課授業の一部や正課外で開催する講習会を通じて学術情報の基礎知識や本学の蔵書検索の使い方、提供しているデータベースの使い方といった基本的な内容を重視した授業を体系的・継続的に実施していることに起因しており、地道な取り組みを継続することも必要である。

(4) 今後の支援に向けて

現在授業支援を行っている探求型科目は、6年一貫(学部4年、大学院2年)の教育として整備が進められている。その教育に対応するためには、図書館としても更なる支援が求められる

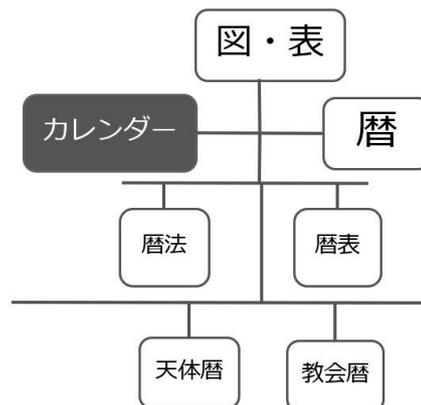


図2 キーワード表



図3 OPAC 検索例

と考える。そこで、以下に今後授業を深化させるための支援内容をハード面とソフト面それぞれの視点で考えてみたい。

ハード面の支援として、探求学習を行う上で特に重要な資料の整備、それも分野に特化した事典や図説、入門書として最適な新書のより一層の整備が挙げられる。分野に特化した事典や図説は、話題毎に概要が記載されているため、問いの設定が進まない学生には足がかりとして有効であるし、新書は初学者が学び始める際に利用しやすい資料である。資料の整備と併せて、授業内容に即したパスファインダー(図7)の作成も情報収集に行き詰まる学生の大きな助けになる。パスファインダーは、授業では時間の制約で説明できない情報源も紹介できるため、幅広い情報検索を促すことに繋がり、情報の探し方に不慣れな学部1年生に対しては有効な支援ツールになりうる。更に、これらの

資料や情報ガイドを特設コーナーに配置することで、そのコーナーを見れば何か情報が入手できる仕組みをつくることができるだろうし、図書館 WEB サイトに資料一覧と情報ガイドを掲載すれば授業中やレポート作成時にいつでも参照でき効果的であると考えられる。

ソフト面の支援としては、講義を補完する課外活動の開催等が挙げられる。例えば、図書館で学習支援を行う学生(図書館学生サポーター)による提出前レポートの添削や、正課と連携した講習会やイベントの開催などが考えられる。具体的には、1本の映画について教員による内容の解説や鑑賞後に参加者同士で内容を語り合う「シネマトーク」や、あるテーマに沿って本を参加者同士で紹介しあう「ブックトーク」や「ビブリオバトル」、1冊の本について解説者が発表を行い、それを聞いた参加者と意見や感想を言い合う「読書会」などが可能である。いずれも多様な意見に触れる機会となり、批判的思考を涵養する場の提供になるであろう。

しかしながら、上記のような支援を提供するためには、図書館組織として継続的な支援体制の確立と授業に関する情報検索の知識とスキルを持つ職員の確保が重要である。また、探求学習の基本となる情報収集能力は、これまで図書館が実施してきた学術情報リテラシー教育とも密接にかかわってくるため、学部4年間を通したリテラシー教育の全学生への実施を、今後も更に推し進めたい。

〈参考文献・引用文献〉

- (1) 国際バカロレア・ディプロマプログラムにおける「TOK」に関する調査研究協力者会議, 国際バカロレア・ディプロマプログラム Theory of Knowledge (TOK)について, 平成 28 年 8 月
- (2) 文部科学省 IB 教育推進コンソーシアム, 「IB とは」, <https://ibconsortium.mext.go.jp/about-ib/>, 最終閲覧日:2020/11/16
- (3) 国際バカロレア機構, 知の理論 (TOK) 指導の手引き, p.3, 2015 年 2 月
- (4) Anthon Tilke, The International Baccalaureate Diploma Program and the School Library, Santa Barbara, 2011
- (5) 国際バカロレア機構, DP:原則から実践へ, p.54, 2020 年 4 月

表1 九州工業大学附属図書館学術情報リテラシー教育体系表

九州工業大学附属図書館における学術情報リテラシー教育 体系表

領域	レベル	初級 学部1年	中級 学部2・3年	上級 学部4年・院生
領域	内容	目標	目標	目標
印象づけ	図書館概要	図書館が生活・学習・研究上役立つ機関であることを理解する。	図書館が情報の受信・発信・交流の拠点であると理解する。	図書館は生涯学習を支援する開かれたサービス機関であることを理解する。
サービス案内	館内案内	図書館の場所、資料の並び、図書館員の存在を知る。	図書館で提供されるツールやイベントを活用する。	
	利用マナー	利用マナーを守る。	利用マナーを守り、主体的に図書館を使うことができる。	
	Webサービス	図書館HPの存在を知る。図書予約、取り寄せができる。	検索履歴の保存やリクエストの依頼ができる。	オンラインで文献取り寄せができる。
情報探索法指導	データベース探索	Ciniiで日本語論文の簡易検索ができる。	主要なデータベースの簡易検索ができる。本文入手(EJ含む)ができる。	各データベースの特徴を知り、使いこなせる。
	論理演算式	AND検索を使って検索できる。	AND,OR検索の概要が分かる。	AND,OR,NOTを使い分け検索できる。
	他大学所蔵探索	他キャンパスの資料取り寄せができる。	Cinii BooksやNDLで他機関の資料を探すことができる。	他大学や他機関へILLの申込ができる。
	キーワード選定	キーワード検索ができる。	質問からキーワードを抽出でき、キーワード検索ができる。	シソーラス検索ができる。
情報整理法指導	引用文献	参考文献リストの読み方が分かる。	参考文献リストを読み解きリストから資料を探すことができる。	参考文献リストを書くことができる。引用文献を辿っていくことができる。
	文献管理ツール	/		文献管理ツール(EndNote,Mendeley)を使える。
	資料の性質	図書と雑誌の違いがわかる。	図書・雑誌論文と新聞記事の性質がわかる。	インパクトファクターを調べられる。
情報表現法指導	レポート作成	フォーマットに沿ったレポートが書ける。	専門分野の論文が読める。論文執筆までのフローが分かる。	卒論・修論が書ける。英語論文が読める、書ける。
	プレゼンテーション技法	PowerPoint等を使って人前で発表・ディスカッションができる。		専門分野の発表やディスカッションができる。
	情報倫理	著作権等、情報倫理について理解し遵守する。		

※領域は 日本図書館協会図書館利用教育委員会編 「図書館利用教育ガイドライン：大学図書館版」 日本図書館協会，1998 による

	オリエンテーション：ほぼ全員
	初級ガイダンス（4月）
	初級情報リテラシー授業（4月～5月）：必修
	中級情報リテラシー授業（6月～7月、10月）：ほぼ全員
	その他イベント（LCS主催等）
	グローバル教養科目（歴史学関連科目、国際関係論、法学等）

図 書 館 紹 介

【宮崎大学附属図書館（本館）】

はじめに

全面改修工事のため令和元年7月より休館していましたが宮崎大学附属図書館（本館）が令和2年7月15日（水）におよそ1年ぶりにオープンしました。今回の改修は『「共創の場」としての図書館 ～共に学び、考え、創る～』をコンセプトに行われました。学生・留学生・教職員だけではなく社会人、地域の方々等、多様な人たちが共に学ぶラーニングcommonsやグループ学習室等の再整備・機能強化により、学生のコミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力、情報リテラシー等高め、そこから新たなムーブメントが創造される場となることを目指しています。

また、改修に伴い、館内の蔵書管理にICタグを導入しました。

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造3階建て

面積：4,977 m²

総座席数：775 席

収容可能冊数：458,389 冊



1F コミュニケーションcommons

学生、留学生、教職員、社会人、地域の人々、多様な人たちが集い、出会い、語らう場。

コミュニケーションコート

ホワイトボードや移動式の机・椅子、ソファ席を設置しています。オープンスペースとして個人やグループで利用することができます。



ワークショップコート

プロジェクター、ホワイトボード兼スクリーンが設置されています。可動式の机、電子黒板等を自由に移動して利用することができます。通常はオープンスペースとして開放しています。



展示コーナー

本学農学部の卒業生であり京都賞を受賞した世界的に著名な進化生物学者の根井正利先生を顕著する資料および京都賞に関する資料と本学に設置された「土呂久歴史民俗資料室」に納め

られている、古くは銀山として栄え、砒素による公害を経験し乗り越え、現在の自然豊かな土呂久が蘇るまでの歴史を知ることができる資料を展示しています。



絵本コーナー

読み聞かせ用の大型絵本から一般の家庭用絵本まで多くの絵本を配架しています。マットやクッションに座って絵本を読むことができます。学生だけでなく地域の人たちにも人気です。



ライブラリーカフェ

今まで学内にはなかった雰囲気のあるスペースです。学生・教職員だけではなく地域の方々にも落ち着いてリフレッシュできる場所として利用できます。出店しているニコマルカフェではドリンクはもちろん、パスタ等の軽食、焼きたてパイ、各種スイーツも取り揃えています。



2F 黙考の杜

伝統的な図書館空間。図書館資料を使いながら、ひとり静かに学習する、熟考する場。

閲覧室

学習、読書に集中できるようパーテーション付きの閲覧席を設置しています。また、窓際には多くのカウンター席を設けています。充電用コンセントも数多く設置。視聴覚コーナー、PCコーナーもあります。



学習室 1、2

閲覧室よりも静かに学習できる個人学習のための部屋です。ノートPCも使用禁止のためキータッチ音もしない静寂な空間です。



3F クリエイティブコモンズ

1Fで出会って語り合ったものを、2Fで熟考し知識を深め、3Fにみんなで持ち寄り、新しいものを創造する場。

hidamari

5台のプロジェクターから壁面の大型スクリーン兼ホワイトボードに映像が映し出され、映像の切り替え等は手元のタブレット端末で操作します。授業、イベント、学生活動、双方向でのワークショップ等様々な用途が期待されています。普段はオープンスペースとして自由に利用可能となっています。



itanoma

靴を脱いでリラックスして利用できる部屋です。畳マットやクッション、テーブルは自由に移動できます。窓側は階段状になっておりステージとしても活用でき、2台のプロジェクター、スクリーンも設置されています。普段はオープンスペースとして自由に利用可能となっています。



co-baco 1、2、3 / naca-baco / o-baco 1、2

6名程度まで利用可能な小さなグループ学習室(co-baco)が3部屋、8名程度利用可能なグループ学習室(naca-baco)が1部屋、24名程度利用可能なセミナー室(o-baco)が2部屋あります。各部屋にはスクリーン兼用のホワイトボードが設置されています。



American Information Desk

図書館と本学国際連携センターが連携し、米国国務省からの助成を受け企画した「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」の一環として設置しました。米国留学や文化に関する情報提供や各種イベントを実施し、宮崎大学のみならず宮崎県全体の国際化、日米相互理解、ひいては日米友好の深化の促進を目的としたものです。



3F クリエイティブコモンズには、その他、komorebi、katarai 等、様々なタイプの部屋を揃えています。

終わりに

今回の改修により図書館は、創立 330 記念交流会館、地域デザイン棟、福利棟から構成される本学の『アカデミック・コア』と呼ばれるゾーンにおける学修支援の中核をなす施設として期待されています。新しく生まれかわった図書館を利用者のみなさんには思う存分利用して欲しいところですが残念ながら新型コロナウイルスの影響により、当分の間は座席数の削減等、感染対策を施しての制限された利用になっています。

【宮崎大学附属図書館医学分館】

はじめに

宮崎大学附属図書館医学分館が令和2年1月9日(木)にリニューアルオープンしました。開館後40年以上が経過し施設の老朽化も著しく、さらに、昨今のラーニングcommons等に代表されるように図書館の機能も時代と共に移り変わり、その強化も求められる中、平成30年度、平成31年度(令和元年度)の2カ年計画として改修工事が行われました。

施設概要

構造：鉄筋コンクリート造2階建て

面積：1,904㎡

総座席数：282席

収容可能冊数：137,583冊

今回の医学分館の改修では、1階を「動」の空間、2階を「静」の空間として明確に色分けしました。1階にはラーニングcommonsやグループ学修室を整備し、賑わいの空間として学生同士が話し合いながら、コミュニケーションを取りながらアクティブに学修するスペース、2階は個人用座席を多く揃えた個別学修室、区切られたブースで集中してeラーニングを行うことができるeラーニングルームを設置し、静寂の中、ひとりで静かに勉強に没頭するスペースとして学修環境の充実を図りました。また、これまでは医学分館と隣接する学生食堂、臨床技術トレーニングセンター、国試対策用学修室等が設置された福利棟とは1階部分のみで繋がっていましたが、今回の改修で2階部分にも渡り廊下が設置され行き来できるようになりました。これにより両建物を一体化した利用が可能となり、学生支援環境の機能強化が図られました。

1F ロビー

入退館ゲートの先には「宮崎大学附属図書館医学分館」の名標と2019年に制定された医学部のシンボルマークを掲げています。



ラーニングcommons

利用者がコミュニケーションを取りながらアクティブに学修するスペースです。自由に移動できる机・椅子の他、シート席、ボックス席も配置しています。



グループ学修室

可動式の間仕切り壁を設置することでグループ学修室として利用できます。グループ学修室として利用しない場合は間仕切り壁を取り外しラーニングコモンズの一部として利用します。



閲覧席

図書・雑誌等を閲覧するための座席です。通常の閲覧席の他にカウンター席、個別ソファ席も配置しています。



個別学修室

個人用座席を数多く備えた個別学修室はひとりで静かに勉強に没頭するスペースです。閉館時利用（24時間利用）時にも多くの学生が勉強に励む姿が見られます。



eラーニングルーム

電子ジャーナルや各種DB、およびDVD資料を見ながら区切られたブースで集中してeラーニングを行うことができるスペースです。8席のブースを設置しています。



リフレッシュルーム

勉強の合間にリフレッシュする部屋です。閉館時利用（24時間利用）の利用者のために軽食を取ることも可能としました。



渡り廊下

隣接する福利棟と2階部分で行き来できるよう新たに渡り廊下が設置され利用者の利便性が向上されました。



終わりに

今回の改修は「よき医療人材の育成と学生の視点に立った学習サポートの実現に向けて～図書館（医学分館）と福利施設を融合した学修環境の強化・拡充～」をコンセプトに行われ、以下の機能強化・学修環境の充実が図られました。

- ・ラーニングcommonsやICT環境・グループ学習室の充実
- ・ラーニングcommons【動】と閲覧室【静】のゾーニングによる学修環境の充実
- ・福利施設棟3Fのスペースを学修支援エリアに活用（グループ学修室の整備）
- ・福利施設棟2Fと図書館（医学分館）2Fを繋ぐ新たな通路を設置（一体化した利用）

しかしながら、新型コロナウイルスの影響により、現在は、非常に制限された運用になっています。一刻も早く新しい図書館機能が再開できることを願っています。

【大分大学】

コロナ禍における開館時間等について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学術情報拠点（図書館・医学図書館）は3月5日から一般利用者の入館を制限した。医学図書館では3月25日以降、無人入退館システムによる時間外利用を停止した。

両図書館では、一時臨時閉館をしたが、5月12日から開館時間を短縮して開館した。土曜日開館（図書館のみ）など段階的に開館時間を延長し、利用サービスを再開している（11月時点）。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応状況ページの作成

新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応状況について周知するページを図書館ホームページ上に作成した。各出版社から無償提供されているコンテンツ等や関連リンク、臨時リモートアクセス情報について掲載した。

図書館／医学図書館利用案内動画

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生ガイダンスや図書館ツアー等を中止した。そのため、代替措置として図書館、医学図書館の利用案内動画を作成した。

図書館では、各施設を詳細に紹介した音声付きの動画を作成した。

新型コロナウイルス感染拡大防止の館内対応

飛沫感染防止のため、カウンター前にビニールカーテン、アクリル板、パソコンコーナーにビニールカーテンとダンボールの仕切りを設置した。換気は、1時間に1回以上行い、手指消毒液を入口、閲覧室各フロアに設置、利用者が触れる場所の定期消毒、閲覧席への使用済みカード等の設置、3密をさけるため、閲覧席の使用数制限（定数の1/3以下）など、対応を行っている。



サービスカウンターとPCコーナー

リユース Book フェア 2020 年春、実施

退職教員から利用しなくなった専門書など図書資料 1,175 点が、学術情報拠点（図書館）へ提供され、学内で有効活用するためリユース Book フェア（無償配布）の開催を企画した。

教職員・学生へリユースを実施し、残りの図書資料は、大分大学古本募金へ送付した。

大分大学学術情報拠点（図書館）

リユースBook フェア 2020 春

巨野原図書館に寄せられました
使用しない本（専門書・学習支援用）を
教職員、学生の皆様に
有効活用いただきたく、
リユースBookフェアを開催します。
無償でお譲りします。

場 所：学術情報拠点（図書館）2階
グループ演習室4

期 間：令和2年6月1日～6月15日

時 間：平日の8時30分から17時まで

対 象：本学教職員、学生

手順：①図書館カウンターで、グループ演習室4のカギを受け取る
②ブックトラックから、お預めしたい本等を取り出す
③貸出付の用紙に、氏名と冊数を記載する
④グループ演習室4のカギの返却と用紙を図書館カウンターへ提出する

大分大学 古本募金 本件問い合わせ先：大分大学学術情報拠点（図書館）
総務部 内 TEL：654-7482
読み替えた本・DVDで返金ができます

電子書籍のQRコードでの展示の実施

電子書籍は、本学の教職員、学生であれば、場所と時間を問わず自由に利用できる利点もあり、利用者のニーズに沿った購入が可能である試読サービスを前期・後期に2回実施した。QRコードの札を作成し、図書館・医学図書館ともに展示し広報活動を行い、積極的に電子書籍の利用をすすめ、アクセス数も増加した。



所蔵資料「府内城下絵図」の複製展示

府内城とその周辺を描いた約400年前の地図「府内城下絵図」のレプリカ(複製)を展示した。現物に貼られている付箋も再現された、非常に精巧なレプリカである。デジタル化も行い、大分大学学術情報リポジトリに登録している。

同時に学術雑誌コーナーへ移設した大分県臼杵市出身の彫刻家、日名子実三作「廃墟」も展示案内を行った。



「府内城下
絵図」



「廃墟」

企画展示

図書館では企画展示を行った。4月の企画展示は新入生に向けて大分県関係の本、料理の本、勉強に関する本を展示した。6月は、「本の読み方がわからない。どのような本を選んだらいいかわからない。」と学生からの相談を受けることがあったので、本の読み方や選び方に関する本や書評に掲載されている本を展示した。11月には、読書週間に併せて芥川賞・直木賞や、秋に関連する本を、タイトルがわからないようカバーをかけ、最初の1行を参考に本を選ぶシークレットブックを企画した。

4月：入学おめでとう 2020～新生活お手伝いします～

6月：読書術～本の読み方・選び方、文章の書き方～

11月：Secret Book—シークレットブック—



6月の企画展示

【鹿児島大学】

オンライン学生選書ツアーを実施

例年鹿児島市内の書店に並ぶ本を学生が選ぶというスタイルで選書ツアーを実施してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から初の試みとなる「オンライン選書ツアー」を企画した。どれだけの学生が参加してくれるのか不安を感じつつ、図書館ホームページや館内ポスターで参加を呼び掛けたところ、各学部・研究科から予想を上回る応募があり、29名の学生が選書ツアーに参加した。

学生の負担を軽減するため、選書期間を10月19日から10月30日までとした。5分間の無料試読が可能な電子ブックプラットフォームから実際に試読して選書することができたため、学生はオンライン選書にそれほど違和感を覚えなかったようである。

選書ツアーで選書された冊数は合計113冊であった。今後選定された図書の購入手続きを行い、学生が所属する各キャンパスの図書館において選定図書コーナーを設け、ポップを貼付した図書の展示を行う予定である。



オンライン学生選書
ツアーポスター



選書された本の一例

【鹿屋体育大学附属図書館】

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策

8月以降、手指の消毒、マスクを着用としたうえで、学外者の来館利用も含め通常の開館とした。



ただし閲覧室、パソコン室など館内は利用できる席を半分にし、アクティブ・ラーニングスペースにおいても3密をつくらぬような利用に限るなど予防対策を行っている。換気のため、閲覧室窓に網戸をつけ、空気清浄機を設置した。

データベース利用について、例年、ゼミ単位の申し込みに対して説明会を実施していたが、今年度は、集合型の対面での説明以外に、ゼミの要望



によって、自習用説明資料の提供のみとし、別途、個別に利用支援を行うようにした。

2. 館内の飾り

季節、催事（ハロウween、クリスマス等）に合わせ受付カウンター周りなど職員手作りによる飾りつけを行い、コロナ禍の中であっても、親しみやすく、入りやすい雰囲気をつくるようにした。

また、学生が読書により関心をもつようにカウンター周りで、図書館資料として不要となった文

庫本などを置き学生に提供するようにした。



3. 企画展示

専門図書以外の読書の参考となる「芥川賞・直

木賞」、「本屋大賞」等、関連図書を購入、展示するなど企画展示を行った。



「芥川賞・直木賞」、「本屋大賞」については、候補作の報道があり次第手配するようにし、話題となっている作品をすぐ学生が利用できるようにした。

【北九州学術研究都市学術情報センター】

新型コロナウイルス対策期間について

当図書室は、2月28日から、休館、一部開館、そして休館を繰り返し、7月に入り、滞在時間を30分以内に限定して、ようやく全面開館となった。開館にあたり、下記のような対策を行った。

現在も、同様の対策を継続中。

(窓口について)

カウンターにポールとビニールクロスで仕切を設置

(返却図書の対応について)

返却された図書は

- ①専用の除菌スプレーで一冊ずつ拭く
- ②除菌機処理（紫外線、送風）
- ③排架

(館内什器等)

1日4回の見回り時、OPAC やカウンターの仕切り、筆記用具などの消毒

(座席)

一部ソファの撤去、閲覧席の間引き

当図書室はコロナウイルス感染症対策を行っています

本の消毒・・・一冊ずつ拭き上げ、消毒機処理をしています



備品の消毒・・・定期的にアルコール液で拭いています



トイレの消毒・・・ご利用があった度にアルコール液で拭いています



学術情報センター図書室

(図書室内に掲示のポスター)



(カウンター周り)



(除菌作業スペース)

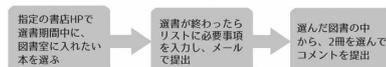
Web 選書

毎年、7月の初旬に選書ツアーを行ってきたが、今年



今年は新型コロナウイルス感染症発生のため、Web選書のみ開催します。ぜひ、あなたのおすすめ本を紹介してください。ご参加お待ちしております！

選書期間：令和2年10月1日(木)～8日(木)



募集人数：10名(先着) ※定員に達し次第締め切り

応募資格：学研都市内大学に所属する学部生および大学院生(教員可)

申込み方法：HPのフォーム、メールおよび電話、図書室内の申込用紙

お問い合わせ：学術情報センター図書室 tel: 093 (695) 3151
mail: il01@hibikino.ne.jp



はコロナ対策のため、Web 選書のみを行った。

参加者は4名。指定の書店HPより、専門書、小説、趣味関連など、様々なジャンルの図書46冊を選んでいただいた。

また、参加者には、選書した本の内1、2冊におすすめコメントを書いていただき、図書と共に展示を行っている。

学生がおすすめしていることもあり、貸出数の多いコーナーとなっている。



くすつと笑えるもの、ブラックユーモア、心が温くなるものなど寄せられた作品は20作品以上。鑑賞された方からは、面白かったとの感想もあり好評だった。第2弾の開催を検討中。



展示の様子（応募作から選抜）

背表紙川柳をたのしもう

明るいニュースの少ない日々の中、自由な形式、発想で楽しんでもらえることから、数年前に SNS などで流行った、背表紙川柳の募集を行った。



【北九州市立大学】

1. はじめに

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本学図書館は2020年2月29日～4月1日まで休館した。その後開館したが、政府の緊急事態宣言を受け学内入構禁止となり、4月8日から再び休館した。(7月14日まで)多くの大学同様、本学も1学期の授業は全面遠隔授業となった。職員は最低限の人数のみ出勤し、大半は在宅勤務(自宅研修扱い)となったが、緊急事態宣言解除後、出勤できるようになった。

この加盟館ニュースでは、コロナ禍における本学図書館の対応について、時系列で説明する。なお、本原稿紙執筆時(2020年12月)において、未だ通常どおりの運用はしておらず、様々な制約のある「限定開館」の状態である。(※教員対応は逐次行っていたため、ここでは割愛する。また、学外者は少なくとも2020年度中は入館不可となっている。)

2. コロナ禍での対応について

(1) 緊急事態宣言前(～4/7)

北九州市の文化施設の休館と合わせる形で休館が始まったが、4月以降は市の方針には足並みを揃えず、大学の判断で開館しても良いことになった。(これにより、4/2～7まで開館した。)

この休館期間は春休み中ということもあり、特別な対応はしなかったが、延滞図書督促は行わず、延滞の罰則(延滞日数分貸出できない。)も適用しないこととした。

(2) 緊急事態宣言中(4/8～)

例年であれば、新入生向け図書館ツアーを行っている時期である。授業開始が5/7から遠隔での実施となり、対面でのツアーは実施できないこととなった。春のメインイベントである図書館ツア

ーを実施できないのであれば、動画を作成してホームページに掲載しようということになり、在宅勤務中に複数の職員で作成した。

電子資料については、これまで学内LAN接続のPCから利用いただいていたが、法律系のデータベースや海外の電子ジャーナル等を学外から利用できるようにしてほしいといった要望が教員から寄せられた。本学は学認等の学外アクセス方法を持っていないことから、この要望に応えられる方法を模索した。

法律系データベースについては、期間限定で学外アクセス用ID・PWをいただけることになり、教員と連携してこの運用を開始した。

海外の電子ジャーナルは学認等のシステムがなくとも、他の認証方法で学外アクセスできるものがあることがわかった。「ProQuest」、「EBSCO」、「JSTOR」については、「MyLibrary」内にURLを登録する「リファラ認証」により、学外アクセスできる環境を整えることができた。また、同時期、電子資料取扱いの複数の会社から、学外からアクセスできるID・PWを発行いただける旨の連絡や海外の電子ジャーナルの会社から利用範囲拡大の案内メールが来るようになっていた。結果的には数多くの会社のご厚意により、学外から電子資料にアクセスできる環境を完全ではないものの一定数整えることができた。(全て整ったのは5月末になったが・・・)これらの情報を学内ポータルにアップする他、オープンアクセスで利用できるデータベースの情報もホームページに掲載した。

(3) 図書館Wi-Fi及び貸出PCの提供(5/11～)

5/7から1学期の授業が始まった。遠隔等授業聴講の環境が整わない学生(大学から入構許可を得た学生)に対し、図書館のWi-Fi環境や貸出PCを提供することになった。

(4) 事前申込制による図書の貸出開始 (5/22～)
入構禁止は続いてしたが、次のとおり学生へのサービスを開始した。

<事前申込制による図書の貸出>

①受渡し日時

平日 (月～金)、10、11、15、16時

②利用人数 各時間帯 30名まで

③申込と受渡し

前日13時までに専用フォームで申込、当日は館外で貸出手続き

<ILL・館内資料の複写>

メールで申込、郵送受渡し

<図書の郵送貸出>

県外に帰省中の学生に対して、貸出図書を郵送(メールで申込)

(5) 事前申込制による入館が可能 (7/15～)

事前申込制で入館可能となったが、閲覧席の提供はせず、貸出や複写等の短時間利用とした。

①利用日時

- ・平日 (月～金) のみ ※土日祝休館
- ・午前：9時～11時、午後：14時～16時 (入替制)

②入館人数

- ・午前、午後 各30名
- ※遠隔等授業聴講のための入館者優先

③申込

前日15時までに専用フォームで申込

(6) 事前申込なしで入館が可能 (9/28～)

2学期は遠隔授業中心であるが、一部対面授業が段階的に開始されることになり、事前申込なしで入館可能となった。3密、検温、消毒等の対策を取り、閲覧席の提供を始めた。

①利用日時

- ・月～金 午前 8:55～12:20、
午後 12:50～18:00 (入替制)

・土 午前 8:55～13:00 ※日祝休館

②座席数 約100席

③主な利用不可エリア

視聴覚コーナー (11/9～一部利用開始)、グループ学習室、図書館ホール、サイレントルーム等部屋タイプのエリア

④ラーニングコモンスエリア

授業やアクティブラーニングでの利用は不可とし、遠隔等授業の聴講や閲覧席として提供している。

3. 図書館のコロナ対策

(1) 検温モニタの設置

検温モニタを購入し、入口付近に設置した。



←検温モニタと
非接触の消毒液

(2) ブッククリーン (書籍消毒機) の設置

ブッククリーンを購入し、利用者が使用しやすいよう自動貸出機の横に設置した。また、ブックトラックに戻った閲覧済みの図書は、図書館職員がブッククリーンで除菌し配架している。



←ブッククリーン

閲覧済の図書は、ブックトラックに戻していただくよう掲示 →



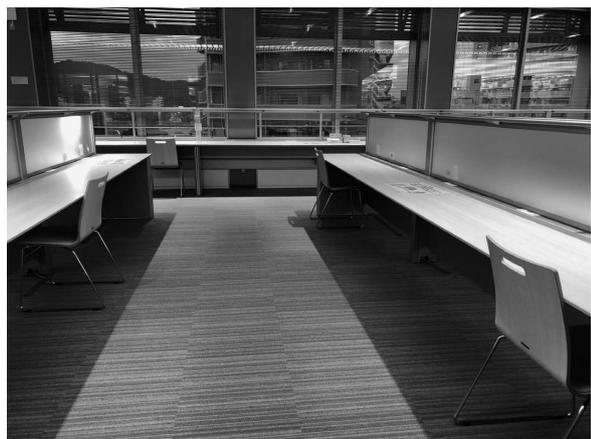
(3) 三密対策

閲覧席は間引いて設置した他、ラーニングコモンの座席も間隔を空けて設置した。また、部屋タイプの閲覧席は利用不可とした。

カウンター前は並ぶ位置に印を貼り付け、ソーシャルディスタンスに配慮した。



ラーニングコモンズ(上)と閲覧席(下)



カウンター前。

(4) コロナ対策の掲示及び消毒グッズの設置

37.5℃以上は入館不可、手指消毒、マスク着用等の注意事項を掲示する他、除菌ウェットティッシュ、消毒液等を各所に設置した。



コロナ対策の掲示と消毒グッズ

4. 利用者広報—図書館ホームページの活用—

今まで来館いただければ、大概の情報やサービスを提供できていた訳であるが、ほとんど大学に来ることができない学生に対して、従来どおりでない利用方法やサービスを告知するツールとして図書館ホームページや「MyLibrary」を活用した。2020年4月からホームページがリニューアルされたこともあり、情報をわかりやすく提供できるようになったと思う。次に、コロナ対応で新規作成したページを紹介する。

(1) 新型コロナウイルス感染症対応特設ページ

- ・「図書館からのお知らせ」まとめ
- ・現在の図書館利用について（学内者・学外者別）
- ・「2 学期からの図書館利用について」（学生向けに動画を作成し掲載）
- ・自宅からできること（学外から利用できる電子資料、ILL、郵送貸出等の紹介）

(2) 資料の探し方

例年、図書館では学修支援サービスとして、春は1年生向けに図書館探検ツアーと情報検索ガイダンス、秋には上級生向けのデータベース講習会を実施していた。どちらも今年度は対面での実施は叶わなかったため、代替として次の動画や資料を作成し掲載した。

- ・館内ツアー（動画）
- ・1年生向け情報検索ガイダンス（動画、OPACの使い方等）

【九州大学附属図書館】

シンポジウム「情報ガバナンスと文理融合教育の課題」を開催

1月24日に、本学アジア・オセアニア研究教育機構・文化変動クラスターと統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻主催のシンポジウム「情報ガバナンスと文理融合教育の課題」を開催した。

基調講演、研究報告、パネル・ディスカッション



- ・上級生向け秋のデータベース講習会（動画、論文検索等）
- ・資料の探し方（PDF、OPACやC i N i i等のパスファインダー）
- ・学部別電子資料案内

(3) 「MyLibrary」について

「MyLibrary」のお知らせには、主に電子資料を学外からアクセスするために必要な情報（ID・PW等）を掲載した。

5. おわりに

現在の来館者数は、昨年度の2割にも満たないが、それでも利用者がいるということに図書館の存在意義を感じる。来年度以降もどのような状況ではあるが、ウィズコロナ、アフターコロナでの図書館サービスを提供していきたいと思う。

ンのセッションで構成された本シンポジウムでは、情報のグローバル化やその課題解決としての情報ガバナンスの現状分析と将来展望が示され、事例に基づく具体的な課題を検討するとともに、文理融合型人材の育成について議論された。国際的な課題、日本を事例とした国内の課題、さらに研究者と実務家からの問題解決のための協働の課題が提起され、情報ガバナンスの課題を多方面の知見を活かして議論する貴重な機会となった。

Asia Week 2020 での3館連携の電子展示

9月1日から9月11日までの期間、本学では「UNIVERSITIES TO GROW SOCIETAL IMPACT」をテーマとして、「Kyushu University Asia Week 2020」を開催した。アジアの大学と本学の学生及び研究者による様々なシンポジウムやイベントが企画されていたが、コロナ禍のため全てオンラインによ



る開催となり、対面が必要な企画は中止となった。

附属図書館における展示会についても、集客型ではなく電子展示（Web サイト）で「九州大学のコレクションー大学創設期のアジア学術交流と古地図」のページを作成し、公開した。本学の MLA（博物館、図書館、文書館）3 館連携による初の試みとなる本展示では、本学の貴重な資料の中から大学創設期の学術交流に係る資料を紹介した。

公開に当たっては、IIIF の規格や ObjectVR での表示など新しい技術も使用し、リアルな展示会でなくとも、楽しめる、活用できる内容となるよう工夫した。

コロナ禍における図書館サービスの展開

令和 2 年度初頭より、コロナ禍における本学の行動指針の段階に応じて、附属図書館の臨時休館や対面でのサービスの縮小を余儀なくされた。こ

九州大学附属図書館 @QLib_info · 5月29日
 【6/1入館希望のみなさま】
 6/1(月)に中央・理系図書館へ入館したい場合は、「本日16時」までに予約してくださいね！
 入館前に「施設予約受付完了のお知らせ」メールを見せてもらおうので、メールの確認をお忘れなく！
 ※事前にスマホ画面にメールを準備して、並んでお待ちください。



の期間に行った図書館サービスの展開を窓口対応、e リソース資料の提供、学習・教育支援の 3 項目に分けて報告する。

(1) 窓口対応

臨時休館の間は、学部最上級生・大学院生・教員を対象とした無料の郵送サービスを実施した。貸出図書はの郵送件数は 406 件 (1,870 冊)、文献複写物の郵送件数は 207 件にのぼった。開館再開時には、当初は時間とサービスを限定した事前予約式で貸出のみのサービスを行い、9 月から座席利用を開始した。レファレンスや ILL などの受付は、原則 Web やメール等で行い、対面での対応時間を減らしてサービスを行った。

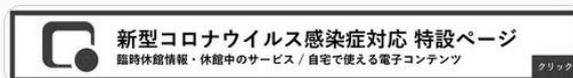
(2) e リソース資料の提供

出版社等がコロナ禍により特別提供する電子ブック・電子ジャーナルなどのトライアルサービス・学術機関向け無料アクセスをリモート環境で積極的に提供するとともに、契約中の学内利用限定データベース等についても、提供元との交渉によりリモートアクセスが可能となるよう環境整備を行った。また、臨時休館に先立ち、図書館 Web サイト上に、自宅で使える電子コンテンツをまとめた特設ページ（日/英）を作成し、公開した。

オンライン授業への対応としては、中央図書館整備事業の寄附金を活用して学生向け電子ブックを重点的に整備することとし、Maruzen eBook Library や KinoDen などのプラットフォームから直接購入リクエストを受け付けて、速やかに購入提供を行った。

緊急事態宣言解除以降は、貴重資料等の閲覧を希望する学内外の研究者のために、求めに応じて資料を電子化し即時公開を行った。

九州大学附属図書館 @QLib_info · 4月10日
 【重要なお知らせ】
 九大図書館は4/11-5/6の休館中もご利用いただけるサービスや、在宅での研究・学習に活用できる情報等をまとめた特設ページを公開しました。情報は随時追加・更新していますので、どうぞ活用ください。
 アクセスはこちらから：lib.kyushu-u.ac.jp/ja/covid19/top



(3) 学習・教育支援

従来対面型で開催していた講習会等の代替として、学部1年生向けのレポート講座・実験レポート講座・プレゼン講座や、文献の探し方講座の教材を本学のeラーニングシステム上で提供した。また、教職員からの要望に応じた図書館紹介資料の作成や映像配信等により、遠隔授業の実施に協力した。

学生に対する学習支援を行う大学院生の図書館TA(Cuter)は、主に在宅で勤務し、図書館Webサイト上の質問フォームからの学習相談受付や、自宅

学習における電子ブックの利用を支援するWeb学習ガイドの作成等に取り組んだ。

【1】新・レポートの書き方講座

図書館TA(Cuter)が講師となり、令和2年5月1日に公開した新・レポートの書き方講座。

7月1日までの2ヶ月で既に486人(そのうち学部1年生は454人)が事前アンケートに回答し、多くの新生者が受講しています。

アンケートを分析した結果、53.0%の学生が受講後、レポートに対してPositiveなイメージを持った他、好意的なコメントが多く寄せられています。

これからレポートを書く人や、レポートの書き方を知りたい人は是非受講してみてください!



【九州工業大学】

遠隔学習相談の実施(戸畑本館)

本学では平成23年度より学部4年生以上で構成された図書館学生サポーターによる対面での授業相談・語学学習支援を行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、Moodle上でのフォーラム機能やチャット機能を利用した遠隔学習相談を行っている。

当初はサポーター自身の安全も考慮し、前期のサポーター活動は中止する予定としていた。しかし、長引く臨時休館や慣れない遠隔授業への戸惑いの声を受けて、コロナ禍でも在学生への学習相談を行えないか検討を行った結果、Moodleを使用した遠隔学習相談の実施に踏み切った。また、チャットに抵抗を感じる学生には、メールでの相談

も受け付ける。

図書館に来ればいつでも気軽に相談できていた昨年度までと比較すると、相談件数は決して多くないものの、授業課題の相談のほか、図書館で提供しているオンラインサービスの利用方法に関する相談なども寄せられており、「新しい生活様式」に対応した学習支援の在り方として体制を確立しつつある。今後はZoom等のWeb会議ツールを使用したオンラインイベントの開催も予定しており、学生の声を取り入れながらより一層の充実を図っていきたい。

Go To HONYAの実施

毎年好評の「選書ツアー」だが、今年は新型コロナウイルス感染症のため、実施を見送った。代わりに、指定の期間中、都合の良い日に一人で書店を訪れて選書できる「Go To HONYA」を実施することにした。また、選書した本に学生自ら作成したPOPをつけて展示するワークショップも、今年はブックレビューを作成してOPACに掲載する方式に変更した。

新たな試みであったが、11月時点で、本館14名、分館8名の申込があり、学生に受け入れられているようである。実施結果を待って、今後の選



書ツアーに生かしていきたい。

電子書籍購入リクエストの受付

緊急事態宣言下、臨時休館となり物理的な資料の提供が制限された一方、電子書籍の利用が大幅に増加した。そのため、本学では6月から紀伊国屋書店提供のKinoden 全文試読サービスを利用した電子書籍リクエストを新たに受け付けることにした。その結果、計83冊のリクエストがあり電子書籍の利用も前年度比443%増となった（2020年9月末時点）。今後も、本サービスを継続するとともに、シ

ラバス掲載図書を中心に電子書籍の整備を進めていく予定である。

電子書籍リクエスト スタート



【熊本大学】

第12回熊本大学東光原文学賞・受賞作発表(1/17)

第12回熊本大学東光原文学賞の受賞作品は、令和2年1月17日開催の表彰式において大賞1篇、優秀賞3篇が発表した。

大賞は「姉妹」、優秀賞は、「おさむじゃない」、「奇妙なティータイム」、「らせん階段のカンダタさん」。

作品の選考は、本名（ペンネーム含む）・所属等の作者背景は一切明かさず、小説のみにて審査する。受賞作品は、令和2年3月刊行の『第12回熊本大学東光原文学賞作品集』（冊子）で読むことができ、図書館ホームページで過去の受賞作はすべて公開している。（URL: https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/tokogen_award）

第13回の文学賞は令和2年11月5日まで作品募集し、令和3年1月の表彰式にて、受賞作を発表する。

オンラインによるレファレンスサービスおよび図書館TA学習相談の実施(7/21～)

令和2年度前期にビデオ会議システムを使用したオンラインでのレファレンスサービスおよび図書館TAによる学習相談を試行的に実施した。新

型コロナウイルスの影響により、キャンパスに来ることが難しい学生は、自宅などから相談できると好評を博した。

後期もオンラインによる在学生向けの学修支援を継続するほか、図書館TAによる本の紹介サービス（本のソムリエ）や、プレゼンテーション講座（オンライン）の公開も行っている。

ロビー展示「令和2年度第1回学生選書祭」開催(10/8～12月末予定)

中央館ロビーにて、令和2年度第1回目の学生選書祭を開催し、6月に学部生・大学院生・留学生を対象に学生選書員を募集し、15人が参加した。さまざまな分野から本が選定され、学生選書員自



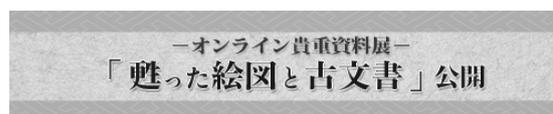
ら作成した個性豊かな POP(紹介文)も注目を集めた。

オンライン貴重資料展「甦った絵図と古文書」特設サイト公開 (11/4 公開)

11月上旬に予定していた「第36回熊本大学附属図書館貴重資料展及び公開講演会/第15回永青文庫セミナー」の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑み、中止が決定となった。それに伴い、貴重資料展の代替イベントとして、貴重資料展の特設サイトを附属図書館ホームページ上に設置し、初のオンライン貴重資料展を開催した。

公開資料は「松井家文書」の保存のため修復した

中から、「肥前国有馬城之絵図」、「細川忠興駿河御普請中掟」、「細川家老衆廻状(千代姫様へ御礼申上次第)」の3点(絵図1点・古文書2点)を厳選した。特設サイトで修復前と修復後の2枚の画像を、わかりやすく比較できるように工夫し、稲葉永青文庫研究センター長による解説と共に紹介している。



URL: <https://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/about/events/onlinekichoshiryō>

【佐賀大学】

貴重資料の環境整備

本館3階貴重書庫には、小城鍋島文庫、市場直次郎コレクション等、本学が所蔵する代表的な資料群が保管されています。図書館所蔵資料を長期保存し活用していくために、貴重書庫の環境整備を次のとおり行いました。

- ・貴重書庫の密閉ガス燻蒸処理及びクリーニング
- ・除湿器を新規に設置
- ・空調機を更新
- ・床をビニールシートに張り替え
- ・送風機を購入



貴重書庫

- ・入口に粘着マットを設置
- ・データロガーを設置

また、図書館職員が資料保存に関する知識および技術を習得するため、株式会社明治クリックス井上桃子氏を講師に迎え、福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区加盟館職員及び佐賀県内公共図書館職員を対象とした「資料保存に関する講習会」を開催しました。

会場：佐賀大学附属図書館 本館4階会議室
参加者：29名



講演の様子

資料のカビ・虫の予防と対策について学び、資料の点検、クリーニングの実習をしました。

参加者の満足度も高く、とても意義のある講習会となりました。

貴重資料にとってより良い環境を整備し、管理する図書館職員も改めてカビ・虫被害対策のための方法を学んだので、これからも資料保全に努めてまいります。



資料の点検

【長崎大学】

COVID-19 対応

令和2年2月28日から、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の利用を停止した。その後の国内の感染拡大を受け、4月以降、開館時間短縮や閲覧席の利用制限など、種々の対策を実施した。

(1) 開館時間短縮、土日祝日休館

令和2年4月4日より開館時間短縮および土日祝日開館の休止を実施した。開館時間については6月4日以降、段階的に延長し、8月1日以降は土日祝日の開館も再開し、10月1日からひとまず平常通りの開館日・開館時間に戻した。

(2) 座席利用制限

令和2年4月4日より閲覧席および館内パソコンを使用禁止とした。6月2日以降一部の閲覧席の利用を再開し、その後段階的に利用可能な閲覧席を増やし、令和2年11月現在、概ね平常時の半数の席数を提供して



検温中の学生

いる。(改築中の経済学部分館を除く)

(3) その他の感染防止対策

- ・マスク着用、手指消毒指導
- ・入館時検温(タブレット型自動検温器を導入)
- ・館内換気、閲覧席の清掃・消毒の強化(利用者のセルフ消毒も推奨)
- ・館内での会話、飲食の禁止

Library Lovers' Nagasaki 2020 の開催

長崎県大学図書館協議会の加盟館が開催するLibrary Lovers' Nagasaki キャンペーンは、今年5回目を迎えた。今年は各館一斉に行う合同イベントを実施せず、ポスターと参加者にプレゼントするオリジナルグッズを共有して各館独自にイベントを開催することとなった。

長崎大学では、中央図書館、医学分館、経済学部分館がそれぞれ独自イベントを開催した。

(1) 中央図書館 ・クイズゲーム「本を探していらっしやい」 ・洋書リクエスト大募集 ・ブックハンティング

(2) 経済学部分館 ・息抜きクイズ! ・ミニ展示『with コロナの読書室』 ・コロナに負けるな! オンライン・ブックハンティング@生協経済店

(3) 医学分館 ・クイズ「Medical Library Lovers' ~医学分館マスターへの道~」 ・展示

「医書ビブリオバトルサテライト on POP」



展示「医書ビブリオバトルサテライト on POP」

この内、中央図書館のクイズゲームでは挑戦者約100人、達成者62人と昨年よりやや少なかった。しかし、感想を書くホワイトボードには1年生か

ら「楽しかった」という書き込みが多数寄せられるなど、なかなか大学に来ることができなかった学生にも、図書館に親しみを持ってもらうきっかけになったと思われる。



ホワイトボードに感想を書く参加者

【福岡教育大学】

新型コロナウイルス対応状況

令和2年初めから流行のきざしを見せ始め、その後いまだ終息していない新型コロナウイルスについて、国の緊急事態宣言に伴う臨時休館（4月9日～6月14日）を経て、平時よりも開館時間を短縮しているものの夜間開館も再開している。

当館では、下記の感染予防策を講じて開館している状況である。

- ・学生証不携帯者の入館不可
- ・マスク非着用者の入館不可
- ・建物入口に手洗い場設置
- ・図書館入口での手指消毒
- ・間隔をあけた閲覧席利用
- ・グループ学習室利用不可
- ・館内（ラーニングコモンズ含む）での会話制限
- ・カウンターのアクリルパネル設置
- ・閉館後の座席消毒
- ・行動記録用に館内座席に番号付番
- ・学外者入館不可
- ・館内混雑状況を示す案内掲示
- ・平時よりも開館時間を短縮

（閉館時刻：平時21時30分→20時）



混雑状況案内



建物入口の手洗い場

国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」 提供開始

令和2年1月から、国立国会図書館が提供する「デジタル化資料送信サービス」に参加し、当館内の専用端末で利用が可能となった。

これまでは近隣の図書館でも利用出来ないサービスであったので、本学の教職員、学生などの教育・研究に寄与するものと思われる。

【宮崎学園図書館】

(宮崎国際大学・宮崎学園短期大学)

蔵書展示

図書館では、毎年、年間20回程蔵書展示を開催している。令和2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で内容変更・中止・延期もあったが、12月までに14回開催した。内容は、主に両大学の授業・行事に沿ったもので、各2週間～1カ月程度展示している。

<令和2年度 展示一覧>

- 4月：①端午の節句関連（絵本・紙芝居・製作本・年中行事関連本・雑誌・CD等）
②国内外絵本賞受賞絵本&豪華仕掛け絵本
- 6月：③七夕関連（絵本・紙芝居・雑誌・製作本・パネルシアター・CD等）
④一度はきちんと読んでおきたい必読絵本～長く読み継がれてきた絵本～
- 7月：⑤星の王子さまの世界（翻訳本、絵本、他著書、作家・作品研究本、関連お菓子レシピ本・製作本、CD・DVD等）
⑥資料で巡る宮崎学園短期大学の歩み（卒業アルバム・大学案内・広報誌・創立記念誌・紀要・学園祭パンフレット・イベントチラシ等）
⑦手作りおもちゃ関連（製作本、前年度開催作品写真展）
⑧追悼 エンニオ・モリコーネ（小説・楽譜・CD・DVD）

図書館ウェブサイトリニューアル

令和2年度に実施した図書館システム更新に伴い、図書館のウェブサイトのリニューアルした。

従来のものよりも内容を整理し、直感的に利用出来るデザインとした。また、当日の開館時間などサービス状況も明示したものとなっている。



蔵書展示「星の王子さまの世界」



蔵書展示「保育所実習関連」

8月：⑨2019年全国大学ビブリオバトル地区決勝
チャンプ本

9月：⑩ハロウィン関連（絵本・紙芝居・製作本・雑誌・CD等）

10月：⑪保育所実習関連（実技・実習全般ガイド、

日誌・指導案書き方、指導法・声掛け、
各実技本、CD、年齢別コーナー等)

⑫手作り絵本関連(学生作品展と同時開催)

11月：⑬クリスマス関連(絵本・紙芝居・製作本・
雑誌・楽譜・CD・DVD等)

12月：⑭アガサ・クリスティ～生誕130周年&デビ
ュー100周年記念～(著書、作家・作品研
究本、DVD)

「飲食専用コーナー」館内設置(試行)

快適な利用空間の向上のため、令和2年10月か
ら試行として「飲食専用コーナー」を館内に設置
した。場所は、書架・閲覧席から離れた吹き抜け
空間で、景色はよいがデッドスペースであった2
階踊り場を活用した。年度途中であったため、在
り合わせの家具を集めての設営・スタートであっ
たが、設置直後から学生が多く利用しており、年
次計画で整備を図っていく。

飲み物の持ち込み禁止にしていたが、密閉容器
に入ったお茶(無糖)・水に限り解禁にした。



2階踊り場「飲食専用コーナー」

第14回 図書館古本市

毎年、10月下旬の学園祭の時期に1週間程度古
本市を開催している。地域の方々も多く訪れる恒
例行事となっており、令和2年度は、通常の学園
祭は中止となったため、期間を延長して10月23
日～11月7日に開催した。

教科書、問題集、楽譜、雑誌、寄贈図書等を
1階のエントランスホールに並べて無料で提供し
ている。



「古本市」の様子

学生作品展

学習・研究成果等の発表の場として、年間を通
じ展示会を開催している。内容は、「木工作品・お
もちゃ、植物マップ、手づくり絵本・おもちゃ、
絵手紙、美術サークル展等」である。令和元年度
は、大学が5回、短大が8回行った。図書館の支
援体制としては関連の資料を揃え、事前・同時に
蔵書展示を行っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影
響で延期・中止もあったが、短大保育科学生の「手
づくりおもちゃ作品展」は、11月～12月の期間、
全クラス開催することができた。今年度は、広報
も積極的に行ったため、教職員も図書館に足を運
び熱心に見入る姿があり、教員からの学生への温
かい言葉掛け(褒める・励ます)が交わされてい
る。



「手づくり絵本作品展」10月開催



「手づくりおもちゃ作品展 ①」



「手づくりおもちゃ作品展 ④」

【宮崎大学】

附属図書館医学分館がリニューアルオープン

令和2年1月9日、改修工事のため前年12月より休館していた附属図書館医学分館がおよそ1年ぶりにオープンし、記念式典が医学分館玄関ホールで執り行われた。

今回の医学分館の改修では、1階を「動」の空間、2階を「静」の空間として明確に色分けしており、1階にはラーニングコモンズやグループ学修室を整備し、賑わいの空間として学生同士が話し合いながら、コミュニケーションを取りながらアクティブに学修するスペース、2階は個人用座席を多く揃えた個別学修室、区切られたブースで集中してeラーニングを行うことができるeラーニングルームを設置し、静寂の中、一人で静かに勉強に没頭するスペースとして学修環境の充実を図っている。また、これまでは医学分館と隣接する学生食堂、臨床技術トレーニングセンター、国試対策用学修室等が設置された福利棟とは1階部分のみで繋がっていたが、今回の改修で2階部分



医学分館でのテープカットの様子

にも渡り廊下が設置され行き来できるようになった。これにより両建物を一体化した利用が可能となり、学生支援環境の機能強化が図られた。

附属図書館本館がリニューアルオープン

令和2年7月15日、全面改修工事のため前年7月より休館していた附属図書館本館がおよそ1年ぶりにオープンした。館内ワークショップコートで行われたオープニングセレモニーでは、池ノ上学長、新地附属図書館長の挨拶の後、場所を図書館正面玄関前に移し、テープカットが行われた。

今回の本館の改修は『「共創の場」としての図書館 ～共に学び、考え、創る～』をコンセプトに行われ、学生・留学生・教職員だけではなく社会人、地域の方々等、多様な人たちが共に学ぶラーニングコモンズやグループ学習室等の再整備・機能強化により、学生のコミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力、情報リテラシー等を高め、そこから新たなムーブメ



本館でのテープカットの様子

ントが創造される場となることを目指している。

宮崎県大学図書館協議会講演会を開催

令和2年1月24日、宮崎県大学図書館協議会主催の講演会がパワープレイス株式会社 教育・公共デザイン部 部長 小山 誠之 氏を講師に迎え、「学生に愛される図書館づくりへ～学生共同・職員の働き方改革による新しい大学図書館像を考える～」をテーマに開催された。

宮崎県内の大学図書館をはじめ、宮崎県立図書館や九州地区の大学図書館職員、宮崎大学の学生など約30名の参加があった。先進的な図書館の事例紹介を交えた講演と学生に愛される図書館・ラーニングcommonsについて参加者が意見を交換するミニワークショップが行われ、参加者からは有意義な内容だったとの感想が寄せられた。



講演会の様子

nikomaru cafe がオープン

本館の改修に合わせ、図書館利用者だけでなく地域の方もリフレッシュできる空間として館内にライブラリーカフェが併設された。ライブラリーカフェ内には公募により決定した事業者が運営する「nikomaru cafe (ニコマルカフェ)」が出店



オープンしたニコマルカフェ

し、本館リニューアルオープンに先駆け、令和2年6月8日より営業を開始した。

アメリカンインフォメーションデスクを設置

3階クリエイティブcommons内のホールに図書館と本学国際連携センターが連携し、米国国務省からの助成を受けて企画した「アメリカ国務省×宮崎大学 図書館プロジェクト」の一環としてアメリカンインフォメーションデスクが設置された。アメリカや留学に関する図書やポスターの展示、パンフレットの設置を行っているほか、国際連携センターの教員が時間を決めて待機し、カジュアル英会話のレッスンや留学相談を行っている。



アメリカンインフォメーションデスク

本館に常設展示コーナーを設置

本館1階コミュニケーションcommons内に常設展示スペースが設置された。本学農学部の卒業生で京都賞も受賞された世界的に著名な進化生物学者の根井正利先生を顕彰する資料、本学に設置された「土呂久歴史民俗資料室」に納められている貴重な資料、本学名誉教授であり彫刻家の平原孝



京都賞に関する展示

明先生の作品等を展示している。



土呂久公害に関する展示

平和資料展を開催

令和2年8月19日～10月15日まで、附属図書館本館において「宮崎基地特攻資料展」（主催：宮崎大学、後援：宮崎特攻基地慰霊祭実行委員会・南九州文化研究会）が開催された。



宮崎基地特攻資料展

本資料展は、戦時中の学徒出陣をはじめとする多くの民間人が犠牲となった戦争を二度と繰り返すことのないよう、大学生をはじめとする若い世代に戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的として、本学では初の試みとして開催された。会場には宮崎基地（赤江飛行場）から出撃した特攻隊員達の顔写真や家族にあてた手紙や遺書などを並べたパネル、アメリカ軍が実際に使用していた装備品や戦闘機の模型などの展示や、MRT 宮崎放送の協力を得た映像視聴コーナーが設置された。

また、コロナ禍で県内の小中学校が修学旅行の



修学旅行に訪れた中学生

行き先を変更したことで、修学旅行などの受入を増やす目的で実施されているみやざき元気体験プログラムにおける平和学習、歴史・文化体験学習の一環として本資料展を訪れた。

学生選書ツアー（第1回）

11月7日（土）に市内の大型書店において学生選書ツアーを実施し、12名の学生が参加した。学生自身が興味のある専門分野や一般書など143冊の本が選ばれた。参加した学生からは、「興味のある分野の専門書が購入できてよかった」「貴重な体験になった」等の感想が寄せられた。購入した本は参加した学生による紹介文とともに館内に展示する。

この「選書ツアー」の展示コーナーは、来館する学生にも好評で、コーナーの前で立ち止まって本を手にする様子がよく見受けられた。



学生選書ツアーの様子

【琉球大学】

大学院生 TA による学修支援

琉球大学附属図書館（以下、「当館」）では、大学院生がティーチング・アシスタント（TA）としてレポートの書き方や大学での学修方法などをアドバイスする「ラーニング・サポートデスク」を開設しています。昨年度までは対面による学修相談対応を実施していましたが、今年度は新たに Web 会議ツールを活用し、自宅等からも相談可能なオンラインでの学修支援体制を整備しました。また、学修のヒントとなるようなガイドの作成・公開や TA から学生へ薦める学修や大学生活の助けとなる図書の展示企画を実施しました。



電子リソースのサービス強化について

今年は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、当館でも直接来館を伴う図書館サービスを大きく制限せざるを得ない状況でした。そんな中でも自宅等から図書館資料を活用できるよう、電子リソースの充実、リモートアクセスの支援、またそれらの広報活動に努めています。本学のシラバスに掲載されている図書は電子書籍としても可能な限り購入し、『電子 BOOK で読めるシラバス掲載図書一覧』（※1）として図書館 Web サイトで公開しました。また、教育・研究活動支援のため、多くの学術出版社から電子リソースの限定的なサービス拡大措置が行われていましたので、上記の電子書籍も含めて情報を集約し『自宅から利用できる電子リソース』（※2）としてまとめたページを図書館 Web サイトで公開しています。あわせて「学認」や「Google CASA」の機能を用いたリモートアクセ

スの方法も紹介し、利用者が遠隔授業等で大学に訪れていない場合でも、授業の参考書や学術情報にアクセスできるよう支援しています。

2020 年 9 月からは Twitter（※3）、Instagram（※4）、ブックログ（※5）といった SNS アカウントの運用を開始し、積極的に情報発信を行うことで、電子リソースの活用を呼びかけています。また、教務関係部署の Web サイトに電子リソース関連の通知を掲載するなど、複数の手段での広報を試みています。

※1 「電子 BOOK で読めるシラバス掲載図書一覧」

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/?p=26075>

※2 「自宅から利用できる電子リソース」

<http://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/?p=26068>

※3 Twitter アカウント

https://twitter.com/ryukyus_lib

※4 Instagram アカウント

https://www.instagram.com/ryukyus_lib/

※5 ブックログアカウント

<https://booklog.jp/users/ryukyus-lib>

「琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ」をリニューアルしました

「琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ」は琉球大学附属図書館が所蔵する琉球・沖縄に関する貴重資料を電子化し公開するシステムです。来館せずに貴重資料を確認可能な研究環境を提供できるほか、原資料の直接的な利用が減ることで、その長期的な保存にも貢献しています。当館のデジタルアーカイブは他機関の類似システムと比較して、翻刻（くずし字を楷書体に置き換えたもの）や現代語訳など付加的なデータを作成して初学者にも使いやすくしていること、テキスト化していることで本文検索が可能であること、ハワイ大学の所蔵する沖縄関係の貴重資料「阪巻・宝玲文庫」を公開していることが特徴として挙げられます。

従来のシステムは 2012 年に構築したものであ

り、システムの老朽化やプラグインのサービス提供終了のため、新たなシステムを再構築することが必要となっておりました。そのため、令和元年度に学内経費により改修し、2020年8月3日に正式に公開しました（※1）。

新しいシステムでは、国際標準規格である International Image Interoperability Framework (IIIF) へ対応したことで本学の画像と

他機関で公開する画像を並べての比較研究や、様々な機関に分散している資料を任意に集約した機関横断型の琉球・沖縄研究基盤の構築が可能となります。

※1 琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ
<https://shimuchi.lib.u-ryukyu.ac.jp>

図書館活動報告

福岡県・佐賀県大学図書館協議会

【令和2年度総会（書面会議）】

日 時：令和2年5月25日（月）～6月8日（月）

当 番 館：九州産業大学図書館

投票会員：38 館

協議事項

- (1) 令和元年度決算報告および監査報告
- (2) 令和2年度事業計画および予算案審議
- (3) 次期理事館および監事館の選出
- (4) 福岡県図書館協会理事の選出

地区研究会報告

- (1) 北部地区
西日本工業大学図書館
- (2) 福岡地区
福岡教育大学学術情報センター図書館
- (3) 南部地区
西九州大学附属図書館

承合事項

- (1) NDC(日本十進分類法)新訂10版の採用状況について

福岡県・佐賀県大学図書館協議会南部地区研究会

【令和元年度第2回研究会・総会】

日 時：令和2年2月14日（金）

13：30～16：30

会 場：西九州大学・西九州大学短期大学部
健康支援センター 多目的ホール

出席者：12 館 14 名

議 事

1. 研究テーマ

- (1) 「図書館企画のイベントの計画と実施方法について」

2. 協議事項

- (1) 「令和2年度 研究テーマ」について

3. 承合事項

- (1) 図書館主催の講習会について
- (2) 図書館活動における学生と地域とのかわりについて
- (3) 視聴覚資料の保管方法、並びに利用者視点での検索方法について

- (4) コミック本の取り扱いについて

4. 講演

演題：「大学図書館における電子資料の利活用について」

講師：丸善雄松堂株式会社

学術情報ソリューション事業部

福岡支店 学術ソリューション担当

江口 拓宏 氏

5. その他

令和元年度南部地区研究会のまとめについて

6. 総会

- (1) 令和元年度決算について
- (2) 令和2年度予算（案）について
- (3) 令和2年度幹事館及び当番館の選出について
- (4) 令和2年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会理事館・監事館の選出について

私立大学図書館協会西地区部会 九州地区協議会

【2020年度九州地区研究会準備委員会】

日 時：令和2年11月16日(月)～
令和2年11月19日(木)17時00分

場 所：メール会議

参加者数：7校7名

I.報告事項

- (1) 2020年度九州地区研究会について

II.協議事項

- (1) 2021年度九州地区研究会について
①研究会実施要領について

III.連絡事項

- (1) 2021年度私立大学図書館協会西地区部会研究会の研究発表者について

九州地区国立大学図書館協会

【令和2年度研修会】

国立大学図書館協会地区協会助成事業

「図書館の災害時対応に関するセミナー」

日 時：令和2年12月8日(火)14:00～15:30

内 容：web講演

テーマ：「その時、図書館はどうなるか？my図書館DIGを実践するための視点を学ぶ」

主 催：九州地区国立大学図書館協会

後 援：九州地区大学図書館協議会

講 師：鈴木 光 氏（一般社団法人減災ラボ
代表理事）

申込者：74名（申込制のweb講演）

令和2年度佐賀県大学図書館協議会総会

書面会議にて開催

日 時：令和2年8月29日(土)

幹事館：九州龍谷短期大学図書館

出席者：加盟館5館

議 事

1. 協議事項

- (1) 令和元年度決算報告および監査報告
- (2) 令和2年度予算案審議
- (3) 令和3年度幹事館及び監査館の選出

2. 報告事項

- (1) 各大学図書館の活動状況について
- (2) 佐賀県読書推進運動協議会・総会の報告について

3. 承合事項

- (1) 相互貸借の取り扱いについて（提出：西九州大学附属図書館）
- (2) 図書館における新型コロナウイルス感染防止対策について（提出：九州龍谷短期大学図書館）

長崎県大学図書館協議会

1 令和2年度総会（書面会議）

日時：令和2年6月10日（水）～6月19日（金）

出席者：11館

議題：

- (1) 令和元年度事業報告・決算報告・監査報告について
- (2) 令和2年度・3年度の役員館等の選出について
- (3) 令和2年度事業計画（案）及び予算（案）について

報告事項：

- (1) 報告事項 図書館総合展2019キャラクターグランプリ審査委員会特別賞受賞について
他
- (2) 承合事項

2. 研修事業

長崎県公共図書館等協議会との合同研修会

日時：令和2年8月31日（月）10時15分～
15時45分

会場：ミライ on 図書館多目的ルーム+Web

テーマ①読み書き障害（ディスレクシア）の理解
と支援～図書館職員ができること～

講師：河野俊寛氏（金沢星陵大学教授）

テーマ②長崎県視覚障害者情報センターについて

講師：松野雅子氏（長崎県視覚障害者情報センター所長）

参加者 66名（大学9名、公立等57名）

収録したDVDも配付

3. Library Lovers' Nagasaki 2020

長崎県大学図書館協議会事業として、Library Lovers' Nagasaki 2020を開催。10校が各館独自イベントで参加した。

熊本県大学図書館協議会

【令和2年度（2020年度）熊本県大学図書館協議会
総会】 ※書面回議による開催

日時：令和2年（2020年）5月29日（金）

議事：

- (1) 平成31年度総会議事録の確認
- (2) 平成31年度事業報告について

(3) 平成31年度収支決算並びに監査報告について

(4) 令和2年度（2020年度）事業計画（案）
及び予算（案）について

(5) 次年度世話館について

【新聞所載リストの作成（データ更新）】

令和2年（2020年）6～7月実施

大分県大学図書館協議会

【令和2年度総会】

日 時：令和2年9月7日（月）～9月11日（金）

当番館：立命館アジア太平洋大学ライブラリー

会 場：メール回議

出席者：9館，大分県立図書館（オブザーバー）

協議事項

- (1) 令和元年度事業報告について
- (2) 令和元年度決算報告及び監査報告について
- (3) 令和2年度事業計画について
- (4) 令和2年度予算について
- (5) 令和3年度役員館及び当番館について

承合事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のた

めの図書館の取組について

- (2) 視覚障害者等に対する読書環境の整備状況について

【令和元年度研修会】

日 時：令和2年2月21日（金）14：00～16：00

場 所：大分県立芸術文化短期大学 会議室

演 題：「著作権だけではない知的財産の話」

講 師：野田 佳邦氏（大分県立芸術文化短期大学 講師）

参加者：7館12名

宮崎県大学図書館協議会

1 令和2年度宮崎県大学図書館協議会総会

日 時：令和2年9月15日（火）14:00～16:00

場 所：宮崎大学附属図書館

本館3階 komorebi

出席者：8大学 18名、公共図書館 2名

議 事：

- (1) 令和元年度決算報告及び監査報告について
- (2) 令和2年度事業計画及び予算について
- (3) 協議事項
 - ① 新型コロナウイルス禍における大学図書館の取組について
- (4) 承合事項：
 - ① 新型コロナウイルス禍における利用者教育の実施について
 - ② 今年度の新型コロナウイルス禍における図書館関連イベント等（学生選書、ブックハンティング等）の開催方法について
 - ③ 新型コロナウイルス感染防止対策について
 - ④ 新しい生活習慣下での図書館サービス提供のあり方について

- ⑤ コロナ感染予防対策および図書館開館状況について

- (5) 次年度役員館について

2 令和2年度宮崎県大学図書館協議会講演会

日 時：令和2年12月9日（水）15:00～17:00

場 所：宮崎大学附属図書館

本館3階 hidamari

出席者：40名（うち、16名がリモート参加）

ワークショップ

「大学図書館における学生活動支援

主体的な学生活動を支援する大学図書館の役割・取組」

パネルディスカッション進行：中村佳文（宮崎大学附属図書館副館長・宮崎大学教育学部教授）

パネリスト：山崎有美（宮崎大学地域資源創成学部准教授）高橋利行（宮崎大学産学・地域連携センター准教授）瀬尾七菜美（宮崎大学教育学部4年）

ワークショップ進行：伊藤健一（宮崎大学国際連携センター准教授）

鹿児島県大学図書館協議会活動報告

1. 第41回鹿児島県大学図書館協議会総会

日時：令和2年7月2日(木)～8月18日(火)

資料確認 7月2日～7月6日

意見交換 7月6日～7月22日

議決 7月23日～8月18日

開催形式：メール会議

当番校：鹿児島純心女子大学

出席館：12館（オブザーバー館1館含む）

1. 報告事項

- (1) 令和元年度会務報告

- (2) 令和元年度決算報告及び監査報告

2. 審議事項

- (1) 令和2年度事業計画
 1. 研修委員会活動計画について
 2. 広報委員会活動計画について
- (2) 令和2年度予算(案)について

3. 協議事項

1. 鹿児島県学術共同リポジトリの廃止について
2. 大学図書館と県立図書館との連携について

沖縄県大学図書館協議会

1. 令和2年度（第48回）総会（書面会議）

期間：令和2年10月15日（木）

～10月30日（金）

議題：令和元年度事業報告

令和元年度決算報告

令和2年度事業計画（案）

令和2年度予算（案）

令和3年度の当番館及び令和2年度の監査館の選出

沖縄地域学リポジトリの終了に伴う対応について

2. 講演会・研修会

- (1) 令和2年度第1回沖縄県大学図書館協議会

共催研修会

日時：令和2年9月11日（金）13:00～17:00

会場：琉球大学文系講義棟201教室

テーマ：「学芸員・司書のための著作権研修会」

講師：福井健策氏

（弁護士、日本大学芸術学部客員教授）

出席者：65名（当協議会から14名参加）

共催：「博物館と医療・福祉のよりよい関係づくり」の構築に向けた博物館マネジメント人材育成事業実行委員会（九州産業大学美術館、九州大学総合研究博物館、海の中道海洋生態科学館、福岡市博物館、福岡市美術館、田川市石炭・歴史博物館、直方谷尾美術館）

令和2年度九州地区国立大学附属図書館人事担当課(事務)長会議

日時：令和2年12月14日（月）9:30～10:30

場所：Microsoft Teams

出席者：10大学10名

・協議題

1. 図書系職員人事に関する情報交換
2. その他

令和2年度九州地区国立大学附属図書館事務（部・課）長会議

日 時：令和2年12月14日（月）13:00～14:15

場 所：Microsoft Teams

出席者：10大学 20名

議 事：

・報 告

1. 令和2年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議報告
2. 令和2年度地区助成事業について
3. その他

・協議題

1. 九州地区国立大学法人等職員採用合同図書

系二次専門試験について

2. 大規模災害時における図書館相互の支援に関する申し合せ作成について
3. ウィズコロナ、ポストコロナ社会における新しい図書館サービスについて
4. フレッシュパーソンセミナーの今後の在り方について
5. 令和3年度の春の事務（部・課）長懇談会について
6. その他

令和2年度九州地区国立大学附属図書館館長懇談会

日 時：令和2年12月14日（月）14:30～16:00

場 所：Microsoft Teams

出席者：10大学 11名

テーマ：

1. 図書館が直面している課題について
2. 令和3年度の春の館長懇談会について
3. その他

令和2年度九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議

日 時：令和2年12月14日（月）16:15～17:15

場 所：Microsoft Teams

出席者：11大学 30名

議 事：

・報 告

1. 館長懇談会報告
2. 事務（部・課）長会議報告
3. 国立大学図書館協会理事会報告
4. その他

・協議題

1. 令和3年度の九州地区国立大学図書館協会総会の開催方法について
2. 九州地区国立大学図書館協会総会当番校及び九州地区大学図書館協議会役員館の選出について
3. その他

令和2年度九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議

日 時：令和2年10月9日（金）

会 場：熊本大学附属図書館中央館2階会議室 他
(web 会議)

出席者：26名

協議事項

- ・大規模災害時における図書館相互の支援に関する
申合せ作成について（提案：九州工業大学）
- ・防災と事業継続(図書業務)について ～リモート
ワークについて考える～ （提案：大分大学）

承合事項

- (1) ウィズコロナ下における各サービスの実施状況
について（提案：九州工業大学、熊本大学）
- (2) ウィズコロナ下における学修支援について（提
案：熊本大学、大分大学）
- (3) 防災訓練について（提案：長崎大学、琉球大学）

(4) 台風や大雨等で臨時休館する際の規程等につい
て（提案：福岡教育大学）

(5) 水濡れや破損・汚損など、貸出資料の弁償に関
する規程等について（提案：福岡教育大学）

(6) キャンパス間の資料配送サービスに関する内規
等について（提案：熊本大学）

(7) 外国図書の納入価格およびマークアップ率につ
いて（提案：九州工業大学）

(9) 図書館関係の会議の開催について （提案：大
分大学）

(10) コロナ禍における在宅勤務、出勤など勤務体制、
サービス提供の状況（予約制、カウンターでの
受け渡しのみに制限、学外者対応、来館を伴わ
ないサービス提供内容等）について（提案：鹿
屋体育大学）

※ 承合事項「8」は、提案大学から取り下げ

事務局報告

令和2年度九州地区大学図書館協議会 幹事館・副幹事館会議

令和3年2月10日（水）に書面会議により開催の結果、「第71回九州地区大学図書館協議会総会記録（案）」について、特段の意見はなく、了承された。

その他について、意見等はなかった。

議題

1. 第71回九州地区大学図書館協議会総会記録（案）について

今年度当番館 熊本大学附属図書館から資料1のとおり第71回九州地区大学図書館協議会総会記録（案）の提出がありましたので、内容をご確認ください。

2. その他

①九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）における協議事項等について

ご意見等がおありでしたらお知らせ下さい。

なお、協議事項等は別途第72回総会当番館（琉球大学）から照会しております。

②副議長について

総会における副議長は、平成11年度からの副幹事館制度の発足により、副幹事館の図書館長により次の順番で執り行われておりますが、令和3年度につきましては、コロナの影響により書面回議を予定していることから、副議長は選出しないことといたします。

<参考>

- 平成11年度（公立大学部会副幹事館長）福岡女子大学
- 平成12年度（私立大学部会副幹事館長）鹿児島国際大学
- 平成13年度（私立短大部会副幹事館長）沖縄キリスト教短期大学
- 平成14年度（国立大学部会副幹事館長）福岡教育大学
- 平成15年度（公立大学部会副幹事館長）宮崎公立大学
- 平成16年度（私立大学部会副幹事館長）筑紫女学園大学・短期大学
- 平成17年度（私立大学部会副幹事館長）九州東海大学
- 平成18年度（国立大学部会副幹事館長）長崎大学
- 平成19年度（国立大学部会副幹事館長）熊本大学
- 平成20年度（公立大学部会副幹事館長）宮崎県立看護大学
- 平成21年度（私立大学部会副幹事館長）九州産業大学
- 平成22年度（国立大学部会副幹事館長）大分大学
- 平成23年度（私立大学部会副幹事館長）熊本学園大学
- 平成24年度（公立大学部会副幹事館長）長崎県立大学
- 平成25年度（私立大学部会副幹事館長）久留米大学
- 平成26年度（公立大学部会副幹事館長）鹿児島県立短期大学
- 平成27年度（私立大学部会副幹事館長）沖縄国際大学

平成28年度（私立短大部会副幹事館長）鹿児島純心女子短期大学
平成29年度（公立大学部会副幹事館長）九州歯科大学
平成30年度（私立大学部会副幹事館長）九州国際大学
平成31（令和元）年度（公立大学部会副幹事館長）宮崎公立大学
令和2年度（私立大学部会副幹事館長）福岡工業大学

③ 副幹事館、表彰委員館、編集委員館の交代について

令和3年度は、副幹事館を選出して頂く年（任期は2年間）ですので、各部会で当番館のご検討をお願いいたします。

なお、表彰委員館、編集委員館の任期は1年間（再任は妨げない。）ですので、各部会で当番館のご検討をお願いいたします。

第71回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）記録

日 程 表

1. 開催方法を書面会議にする旨通知日

令和2年3月19日（木）

2. 書面会議通知日 令和2年5月13日（水）

3. 回答期限 令和2年5月25日（月）

第71回九州地区大学図書館協議会総会（書面回議）議事要録

1. 報告事項

(1) 永年勤続表彰

「九州地区大学図書館協議会表彰規程」（参考）に基づき、表彰を受ける者を各大学へ照会したところ、表彰規定の第2条の

2号（勤務期間20年以上の者で退職または転職した者） 5名

1号（勤務期間20年に達した者） 1名

の推薦があり、表彰委員会による審査の結果、以下のとおり全員の表彰を決定しました。

①勤務期間20年以上の者で退職または転職した者（表彰規定第2条第2号）

（所属機関、氏名の50音順）

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第2項	鹿児島大学	能勢 加代子
2	〃	鹿児島純心女子短期大学	森 理 恵
3	〃	熊本大学	川内野 祐 子
4	〃	熊本大学	高 木 貞 治
5	〃	長崎大学	金 丸 明 彦

②勤務期間20年に達した者（表彰規定第2条第1号）

（所属機関、氏名の50音順）

	表彰の区分	所属大学名	氏名
1	第2条第1項	九州大学	原 田 真理子

(2) 幹事館報告

別紙2のとおり、本協議会の活動について報告します。

(3) 部会報告（国立、公立、私立、私立短大）

別紙3のとおり、各部会について報告します。

2. 決算・予算

(1) 平成31年度（令和元年度）決算及び監査報告

別紙1のと通りの決算としてよろしいか、伺います。

- ・監査館の会計監査を令和2年3月23日に実施。指摘事項はなかった。

■ 了承する

(2) 令和2年度予算（案）

別紙2のと通りの予算としてよろしいか、伺います。

- ・総会の形式変更に伴い、総会運営費と研修会経費を計上していない。
- ・研修会補助費について、九州地区目録講習会が休止のため、昨年と異なり九州地区国立大学図書館協会への補助を計上していない（3. 協議事項（2）参照）。

■ 了承する

3. 協議事項

(1) フレッシュパーソンセミナーについて

【提案理由】

2019年度に本協議会も主催団体のひとつとして実施したフレッシュパーソンセミナーについて、別紙のとおり、実施状況を報告する。

また、別紙には課題も挙げられており、九州地区国立大学図書館協会においては、フレッシュパーソンセミナーの今後の在り方を検討するとのことである。

本協議会からも、加盟館からの意見等があれば、九州地区国立大学図書館協会に対して提案等していきたい。

なお、予定通りであれば、九州地区での次回開催は2023年度であるため、それに向けて、本協議会においても、改めて総会での協議の機会を設ける必要があると考えている。

（意見等）

別紙集計表のとおり

(2) 九州地区目録講習会について

【提案理由】

国立情報学研究所が実施していた目録システム講習会は2015年度で終了したが、その後も九州地区では、九州地区国立大学図書館協会が国立大学図書館協会の助成も活用して、年1回、目録講習会を実施してきた。

当協議会も共催し、2018年度からは、年2万円の経費補助を行ってきた。

しかしながら、2020年6月にはCAT2020の運用が開始されることから、九州地区国立大学図書館協会では、2020年度～2021年度の2年間は目録講習会を休止し、CAT2020運用開始後の状況も踏まえ、2021年度に再開の要否を検討するとのことである。

九州地区国立大学図書館協会での今後の検討にあたり、当協議会の加盟館の意見等についても参考にしてもらおうよう、取りまとめて報告したい。

(意見等)

別紙集計表のとおり

4. 次期役員館・当番館の選出

下記の案のとおり、次期の役員館と当番館を選出してよろしいか伺います。

■ 了承する

5. その他

国文学研究資料館からの古典籍のデジタル画像公開に関する案内

平成31年度（令和元年度）決算

一般会計

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
会費	462,000	462,000	@6,000円×77館	総会運営費	300,000	294,000	当番館：九州工業大学
協議会誌代	116,000	116,000	第61号（平成30年度）@800円×145部	協議会誌発行費	216,000	220,000	第62号（令和元年度）200部
広告掲載料	270,000	20,000	1社 第62号（令和元年度）分	事務費	20,000	37,068	会誌送料、送金手数料、永年勤続表彰状用紙印刷費
広告掲載料	170,000	170,000	10社 第61号（平成30年度）分	積立金会計へ繰入	482,000	216,932	総会講演会謝金・研修事業補助
小計	1,018,000	768,000		小計	1,018,000	768,000	

(単位：円)

積立金会計

収入の部				支出の部			
科目	予算	決算	備考	科目	予算	決算	備考
前年度繰越金	245,819	245,819		表彰経費	75,000	71,042	12名（1号該当7名、2号該当5名）
預金利息	4	4	8月10日：2円、2月15日：2円	研修会経費	50,000	50,000	総会講演会謝金
一般会計から繰入	482,000	216,932		研修会補助費	200,000	200,000	九州地区国立大学図書館協会、各県協議会（9地区）研修経費補助（10件×20,000円）
				次年度繰越金	402,823	141,713	
小計	727,823	462,755		小計	727,823	462,755	

(単位：円)

令和2年3月23日 会計監査実施済

監査館 福岡工業大学 情報基盤センター次長



中島良

※正しくは令和2年

令和2年度予算(案)

一般会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
会費	462,000	@6,000円×77館	総会運営費	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、書面回議(当番館：熊本大学)へ変更
協議会誌代	116,000	第62号(令和元年度)@800円×145部	協議会誌発行費	220,000	第63号(令和2年度)200部
広告掲載料	230,000	14社 第63号(令和2年度)見込み分	事務費	20,000	会誌送料、送金手数料、消耗品費
広告掲載料	210,000	13社 第62号(令和元年度)未収分	積立金会計へ繰入	778,000	研修事業補助等
小計	1,018,000		小計	1,018,000	

積立金会計

(単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	備考	科目	予算	備考
前年度繰越金	141,713		表彰経費	75,000	令和元年度予算額を参照
預金利息	4		研修会経費	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、謝金を伴う総会講演会の開催を中止
一般会計から繰入	778,000		研修会補助費	200,000	九州地区国立大学図書館協会、各県協議会(9地区)研修経費補助(10件×20,000円)
			次年度繰越金	644,717	
小計	919,717		小計	919,717	

九州地区大学図書館協議会会則

昭和 25 年 11 月 27 日施行
昭和 32 年 9 月 12 日改正
昭和 41 年 6 月 2 日改正
昭和 51 年 4 月 23 日改正
昭和 55 年 5 月 9 日改正
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 10 年 4 月 24 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

(名 称)

第 1 条 本会は九州地区大学図書館協議会と称する。

(会 員)

第 2 条 本会は別に定める資格を有する九州地区の大学図書館等（以下「大学図書館」という。）をもって組織する。

会員は大学等の機関をもって一会員とする。

本会に入会するには、所定の入会申込書を提出し、総会の議決を経るものとする。

(目 的)

第 3 条 本会は会員の緊密な連絡と協力によって、大学図書館の施設、管理及び運営等の健全な進歩発達をはかり、会員相互の親睦をはかることを目的とする。

(事 業)

第 4 条 本会は前条の目的を達するためにつぎの事業を行う。

1. 図書館の研究・調査に関する事項
2. 研究会・講習会等の開催に関する事項
3. 日本図書館協会等の連絡提携に関する事項
4. 学術図書文献の調査及び総合目録の調整に関する事項
5. 学術図書文献の収集、保存及び活用に関する事項
6. その他必要とする事項

(役 員)

第 5 条 本会に幹事館、副幹事館及び監査館を置く。

幹事館は会務を総括し、本会を代表する。

副幹事館は、幹事館とともに会務を処理する。

監査館は、会計を監査する。

第 6 条 幹事館は、総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

副幹事館は、国立大学、公立大学、私立大学及び私立短期大学の各部会からそれぞれ 1 館を総会で互選し、その任期は 2 年とする。但し、再選を妨げない。

監査館は、総会で互選し、その任期は 1 年とする。但し、再選できない。

(事務所)

第 7 条 本会の事務所は幹事館内におく。

(会議)

第 8 条 本会は毎年 1 回総会を開催する。但し必要に応じ会員の 3 分の 1 以上から請求があった場合は、臨時総会を開くことができる。

第 9 条 総会の運営は、輪番に定められた当番館が幹事館と協議してこれに当たる。

第 10 条 総会は次の事項を行う。

1. 事業計画
2. 決算の承認
3. 予算の決定
4. 幹事館、副幹事館及び監査館の選任及び当番館の決定
5. その他必要なる事項の決定

第 11 条 総会の票決権は 1 大学等の機関につき 1 票とし、議決は多数決による。可否同数の時は幹事館の決するところによる。

(会計)

第 12 条 本会の経費は会費その他をもってあてる。

第 13 条 会費は年額 6,000 円とし、毎会計年度始めに幹事館に納入するものとする。

第 14 条 本会の予算は毎年総会の議決を経て決定し、決算は監査を受け次の総会において承認を得なければならぬ。

第 15 条 本会の会計年度は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

(会則変更)

第 16 条 本会則の変更は総会にはからなければならない。その決定には出席会員の 3 分の 2 以上の賛成を必要とする。

九州地区大学図書館協議会総会運営に関する細則

昭和 32 年 9 月 12 日決定

昭和 37 年 10 月 2 日改正

昭和 48 年 5 月 11 日改正

昭和 53 年 5 月 12 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

平成 26 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会総会の運営は簡素を尊重し、輪番に当番を引受け易くするためにこの細則を定める。
2. 総会の議長は当番館の館長とする。
3. 議長は副議長を指名することができる。
4. 当番館は幹事館及び副幹事館と協議の上、2ヶ月前に会員宛日程・場所等を通知し、出席者の職氏名及び協議事項・承合事項の提出を求める招請状を送ること。
但し、緊急を要する臨時総会等の場合はこの限りでない。

5. 当番館は協議事項をまとめ、議題として提案理由、又は簡単な説明を付して、出席者に配付し、調査研究の余地を充分与えるように努めること。
6. 当番館は総会の議事録を作成し、会員に配付するものとする。
7. 幹事館及び副幹事館は当番館と協力して、総会で決議された要求事項を貫徹するよう努力する。
8. 総会と同時に会員のための研修会を行うものとする。
9. 会員以外の出席を許すことがある。但し票決権はない。
10. 当番館は加盟館の所属県を次の三地区に分け、地区ごとに等しく持ち廻る。

福岡地区	福岡県
中部地区	長崎県、佐賀県、熊本県、大分県
南部地区	鹿児島県、宮崎県、沖縄県
11. 総会の経費は主として会費及び出席者から徴収する金員より支出し、総会の議決を経た予算案によって実行するものとする。
12. 研修会の講師招聘に要する旅費、謝礼等の費用は、毎年会費の内から積立てて支弁する。

九州地区大学図書館協議会入会に関する細則

昭和 32 年 9 月 1 日施行
平成 9 年 4 月 25 日改正
平成 20 年 4 月 18 日改正

1. 本協議会へ入会を希望する大学図書館（以下「入会申込館」という。）は、最寄りの本協議会 会員の紹介書（別記様式 1）により、入会申込書（別記様式 2）を、総会の 3 ヶ月前までに幹事館に提出する。
2. 紹介を依頼された会員は、総会において入会申込館の概略を説明する。
3. 入会資格の基準は下記のとおりとする。
 - (1) 大学、短期大学又はこれに準じる教育研究機関の図書館施設であること。
 - (2) 本協議会の目的及び事業に賛同し、熱意が十分認められること。
4. 入会申込館は、総会当日は、入会承認まではオブザーバーとして出席することができる。

別記様式 1

九州地区大学図書館協議会入会紹介書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

下記の図書館は、本協議会の目的及び事業に賛同され、また熱意が十分認められますので、本協議会への入会を紹介します。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 図 書 館 名：
4. 図 書 館 長 名：
5. 所 在 地：

別記様式 2

九州地区大学図書館協議会入会申込書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会 殿

大学名

図書館名

図書館長名

公印

貴協議会の趣旨に賛同し、令和 年度からの入会を申し込みます。

記

1. 学校（法人）名：
2. 大 学 名：
3. 大 学 設 置 年：
4. 学 生 数：
5. 図 書 館 名：
6. 所 在 地：
(電話、FAX 番号)
7. 図 書 館 長 名：
8. 図 書 館 の 概 要：(別紙)
9. 紹 介 館 名：

別紙

図 書 館 の 概 要

図 書 館 名			
事務責任者職・氏名	(電話番号)		
図 書 館 職 員 数	人 (内、司書数 人)		
図 書 館 延 床 面 積	m ²	閲覧座席数	席
蔵 書 冊 数	冊 (内 和書 冊、洋書 冊)		
年間受入図書冊数	冊	年間受入雑誌種数	種
年 間 開 館 日 数	日	通常開館時間	時 分～ 時 分
土 曜 開 館	1 実施 2 未実施		
日 曜 祝 日 開 館	1 実施 2 一部実施 3 未実施		
奉 仕 対 象 学 生 数	人	奉仕対象教職員数	人
年 間 貸 出 冊 数	冊		
図 書 館 相 互 協 力	図書貸借	1 実施 2 未実施	
	文献複写	1 実施 2 未実施	
学外者へのサービス	1 実施 2 未実施		
コンピュータの導入	1 導入済 2 未導入		
コンピュータの適用業務	1 貸出 2 図書受入 3 図書整理 4 雑誌管理 5 OPAC		
ネットワーク環境	1 学内 LAN 接続済 2 インターネット接続済		
国立情報学研究所との接続	1 接続 (1 NACSIS-CAT/ILL 2 NACSIS-IR 3 その他) 2 未接続		

九州地区大学図書館協議会誌編集に関する内規

平成 2 年 4 月 20 日施行

平成 5 年 4 月 23 日改正

平成 11 年 4 月 23 日改正

1. (1) 本協議会誌は、総会記事のほか各部会報告、ニュース等を掲載し、九州地区大学図書館間の情報誌としての機能を果たすこととする。
(2) 本協議会誌編集のために編集委員会を設ける。
2. (1) 編集委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された編集委員館で構成する。
(2) 幹事館及び総会当番館は、業務上の必要から編集委員館として参加することとし、上記 2-(1)の編集委員館を兼ねることができる。
(3) 各部会の編集委員館は、幹事館の近隣地区から選出されることが望ましい。
(4) 編集委員館の任期は 1 年とし再任を妨げない。
3. (1) 編集委員館は、それぞれの所属する各部会の記事の提出を担当する。
(2) 総会当番館は、総会記事を担当する。
(3) 幹事館は、編集に関する事務を担当する。
4. 本協議会誌発行のため、印刷代、送料、編集会議費、原稿執筆等謝礼は、毎年会費の内から支弁する。
5. 本協議会誌に掲載された論文・記事は、九州地区大学図書館協議会ホームページに掲載することとする。

九州地区大学図書館協議会表彰規程

(目 的)

第 1 条 この規程は、九州地区大学図書館協議会（以下「協議会」という。）に加盟の大学図書館職員を表彰するため、必要な事項を定めることを目的とする。

(表彰を受ける者)

第 2 条 表彰は、次の各号の 1 に該当し、かつ勤務成績が良好である者について行う。

- (1) 勤務期間 20 年に達した者
- (2) 勤務期間 20 年以上の者で退職または転職した者
- (3) 図書館学の研究、調査等にすぐれた業績のあった者

(表彰状の授与)

第 3 条 表彰は、協議会が別紙様式による表彰状を授与することによって行う。

2 第 2 条に該当する者については、前項の表彰状にあわせて記念品を贈呈することができる。

(被表彰者の選考)

第 4 条 表彰をうける者は、所属図書館長の推薦（別紙様式による）に基づき、表彰委員会が選考し、協議会の総会の承認を経て決定する。

(表彰委員会)

第5条 表彰委員会は、国立、公立、私立及び私立短大の各部会からの推薦により選出された表彰委員館各1館で構成し、任期は1年として再任を妨げない。

(表彰の日)

第6条 表彰は、協議会の総会において行う。

(勤務期間の計算)

第7条 第2条第1号および第2号の勤務期間は、国公立大学図書館およびその他の図書館等に在職した期間とし、10年以上を加盟の大学図書館等に勤務したものでなければならない。

2 次の各号に掲げる期間は、勤務期間から除算する。

(1) 休職の期間（公傷病の期間は除く）

(2) 懲戒処分により停職された期間

(雑 則)

第8条 この規程に定めるもののほか、表彰の実施に関する必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、昭和42年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、昭和55年5月9日から施行する。

附 則

この規程は、平成9年4月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成11年4月23日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月18日から施行する。

文書番号

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会幹事館

〇〇大学附属図書館長 殿

〇〇大学（附属）図書館長

〇 〇 〇 〇

令和 年度表彰者の推薦について

下記の者を本年度の総会における被表彰者として推薦しますのでよろしくお取り計らい願います。
なお、別紙のとおり表彰者調書を提出します。

表彰状様式（1）第2条第1号および第2号該当者

表 彰 状

殿

あなたは 年のがい間大学図書館関係の業務に精励されその功労はまことに大きいものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

表彰状様式（2）第2条第3号該当者

表 彰 状

殿

あなたは図書館学の研究調査に精励されその向上発展に貢献されたことはまことに顕著なものがあります。

よってここに記念品を贈り表彰します。

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

研修会の補助に関する申合せ

平成6年9月20日決定
平成7年9月 1日改正
平成8年4月24日改正
平成9年4月25日改正
平成10年4月25日改正
平成15年4月25日改正
平成24年4月20日改正
九州地区大学図書館協議会

地区の大学図書館活動を発展させるため、研修会、講演会等（以下「研修会」という。）の経費を補助する申合せ事項を次のとおり定める。

1. 研修会経費を補助する対象は、九州地区大学図書館協議会に加盟している大学図書館が主体となって構成する県又は地区単位の組織とし、別紙のとおりとする。
2. 補助する経費の金額は、年間1組織に対して2万円を限度とする。
3. 研修会に要する経費の補助を受けようとするときは、別記様式による申請書を幹事館に提出するものとする。
4. 経費の補助を受けた組織は、本協議会誌に活動報告を掲載するものとする。
5. 経費の支出は、積立金会計を適用する。
6. 新たな組織から経費の補助の申し出があったときは、総会において承認を得るものとする。
7. これに関する事務は、幹事館で行う。

別 紙

経費を補助する県又は地区単位の組織

1. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（北部地区）
2. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（福岡地区）
3. 福岡県・佐賀県大学図書館協議会（南部地区）
4. 長崎県大学図書館協議会
5. 熊本県大学図書館協議会
6. 大分県大学図書館協議会
7. 宮崎県大学図書館協議会
8. 鹿児島県大学図書館協議会
9. 沖縄県大学図書館協議会

別記様式

令和 年度九州地区大学図書館協議会・研修会経費補助申請書

令和 年 月 日

九州地区大学図書館協議会

幹事館 殿

組織名
代表者
(所属大学)

九州地区大学図書館協議会の研修会経費の補助を受けたく、下記のとおり申請します。

記

研 修 会 名 及 び 内 容	
開 催 期 間	自 令和 年 月 日 () 時 分 至 令和 年 月 日 () 時 分
開 催 場 所	
参 加 機 関 数	
参 加 人 数	
必 要 経 費 (具体的に)	ア. 講 師 謝 金 _____ イ. 資 料 代 金 _____ ウ. 会 場 借 上 費 _____ エ. そ の 他 _____ 合 計 _____
連 絡 担 当 者	氏名 職 電話

* 研修内容は、大学図書館活動を促進させるテーマであること。

副幹事館の役割

平成 10 年 8 月 31 日
幹事館・副幹事館会議

- 1 通常時
 1. 年度の事業・活動についての立案・協議
 2. 所属部会との連絡調整と情報の提供
 3. 入会の勧誘等、協議会の広報（特に所属部会の各大学に対して）
 4. ホームページ充実のための提言案、意見具申
- 2 会誌発行時
各部会から編集委員館は選出されているため、特に役割はないと思うが
・所属部会の情報（研究発表等、原稿情報）の提供等
- 3 総会時
 1. 副議長職に館長を選出等、当番館及び幹事館と協力しての総会運営
 2. 前日決定された各部会における役員館の事務局への連絡
 3. 総会終了後、当番館作成の議事録の確認
- 4 その他
別段ある場合は、適宜副幹事館から提案

九州地区大学図書館協議会ホームページの運用について

平成 10 年 8 月 31 日
平成 20 年 1 月 30 日改正
幹事館・副幹事館会議

1. 九州地区大学図書館協議会ホームページ（以下、「ホームページ」という。）は、九州大学附属図書館のサーバに置く。
(URL <https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>)
2. ホームページの管理、維持（デザイン・構成を含む）は、九州地区大学図書館協議会事務局（以下、「事務局」という。）が行う。
3. ホームページに掲載する事項は当面以下のものを中心に構成するものとし、それぞれ以下の館が作成する。
 - ・トピックス&NEWS
加盟館、各設置部会毎協議会、各県毎協議会等からの原稿に基づき事務局が作成
総会議事録は総会当番館が原稿を作成

- ・加盟館一覧 事務局が作成
 - ・役員館一覧 事務局が作成
 - ・当番館一覧 事務局が作成
 - ・九州地区大学図書館協議会誌
事務局が作成（論文等執筆者に対しては原稿依頼時にホームページ掲載方の承諾を得るものとする。）
 - ・地区内の図書館活動
各設置部会毎の図書館協議会等及び各県毎協議会が作成
 - ・各種関連資料集 事務局が作成
 - ・関連サイトへのリンク集 事務局が作成
 - ・地区内各館の相互利用案内 各加盟館からの原稿に基づき事務局が作成
 - ・フォーラムページ
協議会が設定するテーマに対する加盟館からの自由な意見・回答のページで、投稿は直接電子メールによる
4. 「3.」のほか、ホームページに文書・記事等の掲載を希望する副幹事館及び加盟館は、HTML形式等で原稿を作成し、事務局に送付するものとする。
事務局は内容を確認のうえ、ホームページに掲載する。

九州地区大学図書館協議会加盟館一覧

2021(R3).01.01 現在

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
国 立	九州工業大学 附属図書館 (館長 梶原誠司, 情報基盤課長 宮松ひろみ)	804-8550	北九州市戸畑区仙水町1の1	093-884-3073 (093-884-3075)
	福岡教育大学 学術情報センター図書館 (センター長 小川亜弥子, 学術情報課長 栗林陸生)	811-4192	宗像市赤間文教町1番5号	0940-35-1849 (0940-35-1705)
	九州大学 附属図書館 (館長 宮本一夫, 事務部長 瓜生照久)	819-0395	福岡市西区元岡744	092-802-2472 (092-802-2474)
	佐賀大学 附属図書館 (館長 大島一里, 学術研究協力部長 木塚徳男)	840-8502	佐賀市本庄町1	0952-28-8902 (0952-28-8909)
	長崎大学 附属図書館 (館長 増崎英明, 学術情報部長 森山美香)	852-8521	長崎市文教町1の14	095-819-2193 (095-819-2196)
	熊本大学 附属図書館 (館長 山田 秀, 教育研究支援部長 澤田 敬)	860-8555	熊本市中央区黒髪2丁目40の1	096-342-2213 (096-342-2210)
	大分大学 学術情報拠点 (拠点長 藤井弘也, 研究推進部長 飯野美智子)	870-1192	大分市大字旦野原700	097-554-7482 (097-554-7488)
	宮崎大学 附属図書館 (館長 新地辰朗, 事務長 福本久幸)	889-2192	宮崎市学園木花台西1丁目1番地	0985-58-2879 (0985-58-2880)
	鹿児島大学 附属図書館 (館長 橋口 知, 学術情報部長 山本和雄)	890-0065	鹿児島市郡元1丁目21番35号	099-285-7415 (099-285-7413)
	鹿屋体育大学 附属図書館 (館長 山田理恵, 総務課長(兼)学術図書情報課長 羽室秀樹)	891-2393	鹿屋市白水町1	0994-46-4874 (0994-46-4157)
琉球大学 附属図書館 (館長 藤田陽子, 事務部長 熊淵智行)	903-0214	中頭郡西原町字千原1番地	098-895-8153 (098-895-8154)	
公 立	北九州市立大学 図書館 (館長 中尾泰士, 情報化推進課長 野田 博司)	802-8577	北九州市小倉南区北方4丁目2の1	093-964-4404 (093-964-4437)
	九州歯科大学 附属図書館 (館長 中島啓介, 学務部長 鳥巢 毅)	803-8580	北九州市小倉北区真鶴2丁目6の1	093-582-1131 (093-583-7388)
	北九州学術研究都市 学術情報センター (総務企画部長 小垂昭彦, 学術情報担当課長 太田俊雄)	808-0135	北九州市若松区ひびきの1番3号	093-695-3150 (093-695-3152)
	福岡女子大学 附属図書館 (館長 太田雅規, 副館長 深町朋子)	813-8529	福岡市東区香住ヶ丘1丁目1の1	092-661-2416 (092-661-2416)
	福岡県立大学 附属図書館 (館長 小池祐子, 学務部長 柳瀬智幸)	825-8585	田川市伊田4395	0947-42-1760 (0947-42-9457)
	長崎県立大学 附属図書館 (館長 下野孝文, 佐世保校館長 石田和彦, 佐世保校図書館課長 犬塚尚志, シーボルト校図書館課長 柴崎康隆)	851-2195	西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1	095-813-5075 (095-813-5224)
	熊本県立大学 学術情報メディアセンター図書館 (センター長 北原昭男, 事務長 安達直昭)	862-8502	熊本市東区月出3丁目1番100号	096-321-6614 (096-383-2999)
	大分県立芸術文化短期大学 附属図書館 (館長 清水万敬, 企画情報課長 三宮和彦)	870-0833	大分市上野丘東1の11	097-545-4235 (097-545-4235)
	大分県立看護科学大学 附属図書館 (館長 藤内美保, 総務グループリーダー 矢部美香)	870-1201	大分市大字廻栖野2944-9	097-586-4330 (097-586-4373)
	宮崎公立大学 附属図書館 (館長 森部陽一郎, 事務長 笠島誠嗣)	880-8520	宮崎市船塚1丁目1番地2	0985-20-4814 (0985-20-4806)
	宮崎県立看護大学 附属図書館 (館長 山岸仁美, 総務課長 久野智之)	880-0929	宮崎市まなび野3-5-1	0985-59-7756 (0985-59-7773)
	鹿児島県立短期大学 附属図書館 (館長 岡村俊彦, 副館長 日高敦子)	890-0005	鹿児島市下伊敷1丁目52番1号	099-803-4475 (099-803-4473)

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
公立	沖縄県立看護大学 附属図書館 (館長 金城芳秀, 主査 平良牧子)	902-8513	那覇市与儀1-24-1	098-833-8806 (098-833-5134)
	沖縄県立芸術大学 附属図書・芸術資料館 (館長 森 達也, 主査 与儀銀子)	903-8602	那覇市首里当蔵町1-4	098-882-5038 (098-882-5068)
	名桜大学 附属図書館 (館長 高嶺 司, 図書課長 比嘉辰己)	905-8585	沖縄県名護市字為又1220-1	0980-51-1062 (0980-51-1065)
私立	西日本工業大学 図書館 (館長 中島潤二, 学務課長 宇佐圭司)	800-0394	福岡県京都郡苅田町新津1-11	0930-23-7729 (0930-24-7900)
	西南女学院大学 図書館 (館長 岡田和敏, 課長 垂水典子)	803-0835	北九州市小倉北区井堀1丁目3の5	093-583-5959 (093-592-1885)
	九州国際大学 図書館 (館長 松本幸一, 事務室長 坂根一生(兼務))	805-8512	北九州市八幡東区平野1丁目6の1	093-671-8919 (093-671-8920)
	九州共立大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8585	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8	093-693-3036 (093-603-2260)
	九州女子大学・短期大学 附属図書館 (館長 田中雄二, 図書情報課長 田中雄二(兼務))	807-8586	北九州市八幡西区自由ヶ丘1-1	093-693-3124 (093-603-0494)
	福岡工業大学 附属図書館 (館長 三田 肇, 事務次長 中島良二)	811-0295	福岡市東区和白東3-30-1	092-606-0691 (092-606-7389)
	福岡女学院大学 図書館 (館長 大國眞希, 課長 城戸孝之)	811-1313	福岡市南区日佐3丁目42の1	092-575-6402 (092-575-4605)
	九州産業大学 図書館 (館長 大宅明美, 事務部長 宮丸由美子)	813-8503	福岡市東区松香台2丁目3の1	092-673-5382 (092-673-5999)
	福岡大学 図書館 (館長 永星浩一, 事務部長 井口紀子)	814-0180	福岡市城南区七隈8丁目19の1	092-871-6631 (092-865-3794)
	中村学園大学 メディアセンター(図書館) (センター長 新ヶ江登美夫, 部長 赤司博文)	814-0198	福岡市城南区別府5丁目7の1	092-851-2573 (092-841-7762)
	西南学院大学 図書館 (館長 北垣 徹, 事務部長 小嶋哲)	814-8511	福岡市早良区西新6丁目2の92	092-823-3426 (092-823-3480)
	純真学園大学 図書館 (館長 平嶋一臣, 主任 山本哲也)	815-8510	福岡市南区筑紫丘1丁目1番1号	092-541-1527 (092-541-1542)
	第一薬科大学 図書館 (館長 原口浩一, 主任司書 古沢恒平)	815-8511	福岡市南区玉川町22の1	092-541-0161 (092-542-5698)
	九州情報大学 附属図書館 (館長 丹羽崇之, 図書館司書 井上理恵子)	818-0117	太宰府市宰府6丁目3番1号	092-928-4000 (092-928-3200)
	筑紫学園大学 附属図書館 (学術情報部長 時里奉明, 大学総務班主査 半田 隆)	818-0192	太宰府市石坂2丁目12の1	092-925-9910 (092-925-3318)
	久留米工業大学 学術情報センター (館長 高橋雅仁, センター室長 小林敬二)	830-0052	久留米市上津町2228-66	0942-65-3480 (0942-22-2385)
	聖マリア学院大学 図書館 (館長 日高艶子, 司書 山口真由美)	830-8558	久留米市津福本町422	0942-37-1138 (0942-37-1138)
	久留米大学 附属図書館 (館長 高栢真一, 課長 福田力)	839-8502	久留米市御井町1635	0942-44-4015 (0942-43-0348)
	保健医療経営大学 情報メディアセンター図書館 (センター長 林 勝裕, 図書係 古澤亜紀)	835-0018	みやま市瀬高町高柳960-5	0944-67-7007 (0944-63-3003)
	国際医療福祉大学 九州地区キャンパス図書館 (館長 原 富英, 司書 北島麻美)	831-8501	大川市榎津137-1	0944-89-2143 (0944-86-6000)
西九州大学 附属図書館 (館長 三嶋敏雄, 課長 姉川博幸)	842-8585	神崎市神崎町尾崎4490-9	0952-37-9299 (0952-53-7869)	
活水女子大学 図書館 (館長 安川 徹, 課長 奥村治輝)	850-8515	長崎市東山手町1-50	095-820-6028 (095-823-3701)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私	長崎総合科学大学 附属図書館 (館長 ブライアン・F・パークガフニ, 図書課長 山川邦子)	851-0193	長崎市網場町536	095-838-5142 (095-838-2072)
	長崎外国語大学 教育研究メディアセンター (センター長 野田雄史, マルチメディアライブラリー事務室長補佐 別所佐和子)	851-2196	長崎市横尾3-15-1	095-840-2005 (095-840-2205)
	長崎純心大学 早坂記念図書館 (館長 浜口美由紀, 司書 里脇幸代)	852-8558	長崎市三ツ山町235	095-846-0084 (095-845-4279)
	長崎ウエスレヤン大学 附属図書館 (館長 菅原良子, 司書 植松久子)	854-0082	諫早市西栄田町1212-1	0957-26-8203 (0957-26-0244)
	長崎国際大学 図書館 (館長 岸原健二, 図書課長 久保隆司)	859-3298	佐世保市ハウステンボス町2825-7	0956-20-5560 (0956-39-4894)
	崇城大学 図書館 (館長 原島 俊, 課長 早見久美子)	860-0082	熊本市西区池田4丁目22-1	096-326-3419 (096-359-3002)
	九州ルーテル学院大学 図書館 (館長 緒方宏明, 総務課図書館担当 西林佳夫)	860-8520	熊本市中央区黒髪3丁目12-16	096-343-1600 (096-343-0354)
	熊本学園大学 附属図書館 (館長 矢野 謙一, 図書情報課長 稲葉 慎一)	862-8680	熊本市中央区大江2丁目5番1号	096-371-8047 (096-364-5173)
	東海大学 附属図書館 九州図書館 (館長 伊藤是清)	862-8652	熊本市東区渡鹿9-1-1	096-386-2634 (096-386-2769)
	熊本保健科学大学 附属図書館 (館長 飯山準一, 教学支援課長 山崎栄子)	861-5598	熊本市北区和泉町325	096-275-2264 (096-275-2265)
	九州看護福祉大学 附属図書館 (館長 生野繁子, 図書課長 福本直子)	865-0062	玉名市富尾888	0968-75-1840 (0968-75-1873)
	日本文理大学 図書館 (館長 福島 学)	870-0397	大分市大字一木1727	097-524-2711 (097-593-5166)
	立命館アジア太平洋大学 ライブラリー (総合情報センター長 Khan Muhammad T, アカデミック・オフィス課長 山下啓祐)	874-8577	別府市十文字原1-1	0977-78-1140 (0977-78-1141)
	別府大学 附属図書館 (館長 浅野則子, 総務・研究推進課長 瀬戸山賢介)	874-8501	別府市大字北石垣82	0977-66-9633 (0977-66-9632)
	九州保健福祉大学 附属図書館 (館長 倉内紀子, 課長 矢野 朋光)	882-8508	延岡市吉野町1714-1	0982-23-5562 (0982-23-5560)
	宮崎産業経営大学 附属図書館 (館長 奥村憲博, 課長 今川 威)	880-0931	宮崎市古城町丸尾100	0985-52-3205 (0985-50-4699)
	南九州大学・南九州短期大学 図書館 (館長 柚木崎千春, 図書課長 赤木裕美)	880-0032	宮崎市霧島5-1-2	0985-83-3430 (0985-83-3431)
	立 宮崎学園 図書館 (宮崎国際大学・宮崎学園短期大学) (館長 河原 国男, 図書課長 小橋智子)	889-1605	宮崎市清武町加納丙1415	0985-85-1410 (0985-85-8189)
	鹿児島国際大学 附属図書館 (館長 村瀬士朗, 図書館次長 小林和代)	891-0197	鹿児島市坂之上8-34-1	099-263-0732 (099-261-1198)
	鹿児島純心女子大学 附属図書館 (館長 七川正一, 図書課長 岩永眞佐子)	895-0011	薩摩川内市天辰町2365	0996-23-5311 (0996-23-5030)
志学館大学 図書館 (館長 畑井清隆, 課長代理 濱田みゆき)	890-8504	鹿児島市紫原一丁目59-1	099-812-8501 (099-257-0308)	
沖繩国際大学 図書館 (館長 上江洲 薫, 課長 當銘弘道)	901-2701	宜野湾市宜野湾2丁目6番1号	098-892-1111 (098-893-3274)	
沖繩大学 図書館 (館長 小野啓子, 事務長 糸数 晃)	902-8521	那覇市字国場555	098-832-5577 (098-834-1127)	
沖繩キリスト教学院大学 図書館 (館長 照屋信治, 主任 座波みゆき)	903-0207	沖繩県中頭郡西原町字翁長777	098-946-1236 (098-946-1237)	
沖繩科学技術大学院大学 図書館 (館長 ミリンダ・プロヒッタ, アシスタント・マネージャー 上原藤子)	904-0495	沖繩県国頭郡恩納村字茶谷1919-1	098-982-3769 (098-966-8817)	

	館名	郵便番号	所在地	電話番号 ()内はFAX番号
私立 短大	九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学 図書館 (館長 赤松貴文, 主任司書 内川 梓)	803-8511	北九州市小倉北区下到津5の1の1	093-561-3541 (093-592-6184)
	福岡女子短期大学 図書館 (館長 高橋敬一, 課長 大橋祐子)	818-0193	太宰府市五条4丁目16-1	092-922-3604 (092-922-3596)
	鹿児島女子短期大学 附属図書館 (館長 山元有一, 課長 岩元久乃)	890-8565	鹿児島市高麗町6-9	099-254-9195 (099-254-5914)
	鹿児島純心女子短期大学 図書館 (館長 佐々木亘, 課長 西 真知子)	890-8525	鹿児島市唐湊4丁目22の1	099-253-2677 (099-254-5247)

九州地区大学図書館協議会役員館一覽

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和48年度 (24)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	福岡教育大学 長崎国際経済大学 福岡大学	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	
昭和49年度 (25)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	九州工業大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎県立女子短大 福岡大学	
昭和50年度 (26)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	佐賀大学 北九州大学 久留米大学	長崎大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和51年度 (27)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 九州歯科大学 久留米大学	大分大学 長崎国際経済大学 西南学院大学	
昭和52年度 (28)	九州大学	福岡大学	国 公 私	福岡教育大学 福岡女子大学 西南学院大学	鹿児島大学 熊本女子大学 九州産業大学	
昭和53年度 (29)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	佐賀大学 長崎県立女子短大 西南学院大学	九州芸術工科大学 長崎国際経済大学 久留米大学	
昭和54年度 (30)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 北九州大学 九州産業大学	佐賀大学 九州歯科大学 久留米大学	
昭和55年度 (31)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎大学 福岡社会保育短大 西南学院大学	九州工業大学 大分県立芸術短大 熊本商科大学	
昭和56年度 (32)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	福岡教育大学 熊本女子大学 九州産業大学	熊本大学 鹿児島県立短大 福岡大学	
昭和57年度 (33)	九州大学	福岡大学	国 公 私	長崎大学 北九州大学 八幡大学	鹿児島大学 福岡女子大学 熊本商科大学	
昭和58年度 (34)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	琉球大学 福岡社会保育短大 鹿児島経済大学	宮崎医科大学 鹿児島県立短大 八幡大学	
昭和59年度 (35)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 中村学園大学	大分医科大学 長崎県立女子短大 西日本工業大学	
昭和60年度 (36)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	宮崎大学 熊本女子大学 鹿児島経済大	九州工業大学 大分県立芸術短大 西日本工業大学	
昭和61年度 (37)	九州大学	福岡女子短大	国 公 私	熊本大学 北九州大学 長崎総合科学大学	大分大学 福岡社会保育短大 第一薬科大学	
昭和62年度 (38)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	宮崎医科大学 福岡女子大学 九州東海大学	大分医科大学 九州歯科大学 沖縄国際大学	

年次 (回次)	幹事館	監査館	表彰委員館			編集委員館
昭和63年度 (39)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	佐賀医科大学 長崎国際経済大学 福岡大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 八幡大学	
平成元年度 (40)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	九州芸術工科大学 長崎県立女子短期大学 西南学院大学	佐賀大学 熊本女子大学 中村学園大学	
平成2年度 (41)	九州大学	中村学園大学	国 公 私	福岡教育大学 北九州大学 九州産業大学	長崎大学 大分県立芸術文化短期大学 熊本商科大学	九州大学 大分医科大学 福岡女子大学 福岡大学 福岡女子短期大学
平成3年度 (42)	九州大学	福岡大学	国 公 私	九州工業大学 福岡県社会保育短期大学 久留米大学	鹿児島大学 長崎県立大学 西日本工業大学	九州大学 鹿屋体育大学 九州歯科大学 中村学園大学 筑紫女学園短期大学
平成4年度 (43)	九州大学	福岡女子短期大学	国 公 私	宮崎大学 福岡女子大学 鹿児島経済大学	大分大学 九州歯科大学 活水女子大学	九州大学 福岡教育大学 北九州大学 九州国際大学 東筑紫短期大学
平成5年度 (44)	九州大学	福岡女子大学	国 公 私	宮崎医科大学 熊本女子大学 活水女子大学	大分医科大学 鹿児島県立短期大学 鹿児島経済大学	九州大学 熊本大学 福岡女子大学 西南学院大学 筑紫女学園短期大学
平成6年度 (45)	九州大学	九州芸術工科大学	国 公 私	熊本大学 大分県立芸術文化短期大学 活水女子大学	佐賀医科大学 宮崎公立大学 鹿児島経済大学	九州大学 宮崎大学 福岡県立大学 九州産業大学 筑紫女学園短期大学
平成7年度 (46)	九州大学	九州産業大学	国 公 私	鹿屋体育大学 北九州大学 第一薬科大学	琉球大学 長崎県立大学 南九州大学	九州大学 九州工業大学 九州歯科大学 久留米大学 筑紫女学園短期大学
平成8年度 (47)	九州大学	西南学院大学	国 公 私	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州東海大学	佐賀大学 九州歯科大学 熊本学園大学	九州大学 大分大学 北九州大学 九州共立大学 西南女学院短期大学
平成9年度 (48)	九州大学	福岡教育大学	国 公 私	九州工業大学 熊本県立大学 九州女子大学	宮崎大学 鹿児島県立短期大学 久留米工業大学	九州大学 佐賀大学 九州歯科大学 福岡大学 西南女学院短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館		監査館	表彰委員館	編集委員館
平成10年度 (49)	九州大学	国 公 私 短	九州芸術工科大学 福岡女子大学 九州国際大学 中九州短期大学	中村学園大学	福岡教育大学 長崎大学 福岡県立大学 長崎県立女子短期大学 西日本工業大学 筑紫女学園大学	九州大学 佐賀医科大学 福岡女子大学 第一薬科大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成11年度 (50)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島経済大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 別府大学 中九州短期大学	九州大学 佐賀大学 長崎大学 福岡県立大学 熊本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成12年度 (51)	九州大学	国 公 私 短	九州工業大学 大分県立芸術文化短期大学 鹿児島国際大学 沖縄キリスト教短期大学	福岡女子大学	大分大学 宮崎県立大学 宮崎国際大学 中九州短期大学	九州大学 沖縄国際大学 宮崎医科大学 北九州大学 西南女学院大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成13年度 (52)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡教育大学	宮崎医科大学 北九州市立大学 筑紫女学園大学 沖縄キリスト教短期大学	鹿児島大学 九州歯科大学 西九州大学 活水女子短期大学 九州大学 九州女子大学
平成14年度 (53)	九州大学	国 公 私 短	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 九州大谷短期大学	福岡工業大学	大分医科大学 熊本県立大学 九州情報大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡県立大学 鹿児島純心女子大学 活水女子短期大学 九州大学 大分大学
平成15年度 (54)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	筑紫女学園大学・短期大学	鹿屋体育大学 宮崎県立看護大学 九州ルーテル学院大学 筑紫女学園大学・短期大学	九州工業大学 福岡女子大学 九州看護福祉大学 西南女学院大学・短期大学 九州大学 宮崎大学
平成16年度 (55)	九州大学	国 公 私 短	佐賀大学 北九州市立大学 九州共立大学 筑紫女学園大学・短期大学	西南学院大学	熊本大学 福岡女子大学 志學館大学 東九州女子短期大学	福岡教育大学 九州歯科大学 南九州大学・南九州短期大学 西南女学院大学・短期大学
平成17年度 (56)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	九州産業大学	琉球大学 沖縄県立看護大学 西南女学院大学 鹿児島純心女子短期大学	熊本大学 北九州市立大学 西日本工業大学 鹿児島純心女子短期大学
平成18年度 (57)	九州大学	国 公 私 短	長崎大学 熊本県立大学 九州東海大学 鹿児島純心女子短期大学	福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	佐賀大学 鹿児島県立短期大学 福岡女学院大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	鹿屋体育大学 福岡県立大学 筑紫女学園大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学
平成19年度 (58)	九州大学	国 公 私 短	熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	中村学園大学	九州工業大学 九州歯科大学 久留米工業大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 九州女子大学・短期大学 九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学

年次 (回次)	幹事館	副幹事館	監査館	表彰委員館	編集委員館
平成20年度 (59)	九州大学	国 熊本大学 宮崎県立看護大学 福岡大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡教育大学	宮崎大学 大分県立看護科学大学 別府大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	長崎大学 九州歯科大学 鹿児島国際大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成21年度 (60)	九州大学	国 大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学 私短	福岡女子大学	福岡教育大学 宮崎公立大学 福岡国際大学・福岡女子短期大学 鹿児島女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 中九州短期大学
平成22年度 (61)	九州大学	国 大分大学 福岡県立大学 九州産業大学 九州大谷短期大学 私短	福岡大学	長崎大学 福岡女子大学 鹿児島純心女子大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 活水女子大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成23年度 (62)	九州大学	国 宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡工業大学	鹿児島大学 大分県立芸術文化短期大学 福岡女学院大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	佐賀大学 福岡県立大学 九州国際大学 九州大谷短期大学
平成24年度 (63)	九州大学	国 宮崎大学 長崎県立大学 熊本学園大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	筑紫女学園大学・短期大学	大分大学 沖縄県立看護大学 九州東海大学 九州大谷短期大学	琉球大学 福岡女子大学 沖縄国際大学 鹿児島女子短期大学
平成25年度 (64)	九州大学	国 鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学 私短	西南学院大学	鹿屋体育大学 北九州市立大学 九州共立大学 鹿児島純心女子短期大学	宮崎大学 九州歯科大学 聖マリア学院大学 鹿児島純心女子短期大学
平成26年度 (65)	九州大学	国 鹿児島大学 鹿児島県立短期大学 久留米大学 鹿児島女子短期大学 私短	九州産業大学	熊本大学 熊本県立大学 九州保健福祉大学 東九州短期大学	大分大学 北九州市立大学 西九州大学 東九州短期大学
平成27年度 (66)	九州大学	国 鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子 短期大 私短	中村学園大学	琉球大学 鹿児島県立短期大学 九州情報大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学	熊本大学 北九州学術研究都 市学術情報センター 西日本工業大学 福岡国際大学・ 福岡女子短期大学
平成28年度 (67)	九州大学	国 鹿屋体育大学 九州歯科大学 沖縄国際大学 鹿児島純心女子 短期大 私短	福岡教育大学	佐賀大学 北九州学術研究都市 学術情報センター 長崎総合科学大学 鹿児島女子短期大学	福岡教育大学 福岡女子大学 沖縄キリスト教 学院大学 鹿児島女子短期大学
平成29年度 (68)	九州大学	国 琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡女子大学	九州工業大学 長崎県立大学 西日本工業大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	鹿屋体育大学 福岡県立大学 九州情報大学 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>
平成30年度 (69)	九州大学	国 琉球大学 大分県立看護科学大学 九州国際大学 私短 <small>九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学</small>	福岡大学	宮崎大学 宮崎県立看護大学 沖縄科学技術大学院大学 鹿児島純心女子短期大学	長崎大学 九州歯科大学 熊本保健科学大学 鹿児島純心女子短期大学
平成31年度 (令和元年度) (70)	九州大学	国 佐賀大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 福岡女子短期大学 私短	福岡工業大学	福岡教育大学 福岡県立大学 純真学園大学 福岡女子短期大学	鹿児島大学 北九州市立大学 西南女学院大学 福岡女子短期大学
令和2年度 (71)	九州大学	国 佐賀大学 宮崎公立大学 福岡工業大学 福岡女子短期大 私短	筑紫女学園大 学	長崎大学 大分県立看護科学大学 九州ルーテル学院大学 鹿児島女子短期大学	九州工業大学 <small>北九州学術研究都市学術情報センター</small> 宮崎国際大学 鹿児島女子短期大学

年次 (回次)	幹事館	副 幹 事 館		監 査 館	表彰委員館	編集委員館
令和3年度 (72)		国 公 私 短				

九州地区大学図書館協議会総会当番館一覧

回次	年度	県別	大 学
1	25	福岡	九州大 学
2	26	熊本	熊本大 学
3	27	長崎	長崎大 学
4	28	佐賀	佐賀大 学
5	29	鹿児島	鹿児島大 学
6	30	宮崎	宮崎大 学
7	31	大分	大分大 学
8	32	福岡	西南学院大 学
9	33	福岡	九州大 学
10	34	熊本	熊本大 学
11	35	福岡	九州工業大 学
12	36	長崎	長崎大 学
13	37	福岡	福岡大 学
14	38	佐賀	佐賀大 学
15	39	福岡	福岡教育大 学
16	40	宮崎	宮崎大 学
17	41	福岡	八幡大 学
18	42	鹿児島	鹿児島大 学
19	43	福岡	九州大 学
20	44	熊本	熊本商科大 学
21	45	福岡	久留米大 学
22	46	大分	大分大 学
23	47	福岡	北九州大 学
24	48	長崎	長崎大 学
25	49	福岡	九州産業大 学
26	50	佐賀	佐賀大 学
		”	佐賀龍谷短期大 学
27	51	沖縄	琉球大 学
28	52	福岡	九州大 学
29	53	大分	大分大 学
30	54	宮崎	宮崎大 学
31	55	福岡	九州歯科大 学
		”	福岡女子大 学
		”	福岡県社会保険短期大 学
32	56	熊本	熊本女子大 学
33	57	鹿児島	鹿児島大 学
		”	鹿児島県立短期大 学
		”	鹿児島経済大 学

回次	年度	県別	大 学
34	58	福岡	西日本工業大 学
35	59	長崎	長崎大 学
36	60	宮崎	宮崎医科大 学
		大分	大分県立芸術短期大 学
		宮崎	南九州大 学
		長崎	純心女子短期大 学
37	61	福岡	九州芸術工科大 学
38	62	佐賀	佐賀医科大 学
39	63	沖縄	琉球大 学
40	平成元	福岡	北九州大 学
41	2	大分	大分医科大 学
42	3	鹿児島	鹿屋体育大 学
43	4	福岡	西南学院大 学
44	5	熊本	九州東海大 学
45	6	宮崎	宮崎産業経営大 学
46	7	福岡	九州工業大 学
47	8	長崎	長崎大 学
48	9	鹿児島	鹿児島経済大 学
49	10	福岡	福岡女子大 学
50	11	佐賀	佐賀大 学
51	12	沖縄	沖縄国際大 学
52	13	福岡	九州女子大 学
53	14	大分	大分大 学
54	15	宮崎	宮崎大 学
55	16	福岡	福岡教育大 学
56	17	熊本	熊本大 学
57	18	鹿児島	鹿屋体育大 学
58	19	福岡	九州大 学
59	20	長崎	長崎大 学
60	21	沖縄	琉球大 学
61	22	福岡	福岡県立大 学
		”	九州歯科大 学
		”	北九州学術研究都市（学術情報センター）
62	23	佐賀	佐賀大 学
63	24	鹿児島	鹿児島大 学
64	25	福岡	福岡教育大 学
65	26	大分	大分大学学術情報拠点
66	27	宮崎	宮崎大 学

回次	年度	県別	大 学
67	28	福 岡	九 州 大 学
68	29	長 崎	長 崎 大 学
69	30	鹿 児 島	鹿 屋 体 育 大 学
70	31	福 岡	九 州 工 業 大 学
71	令和2	熊 本	熊 本 大 学
72	3	冲 縄	琉 球 大 学
73	4		

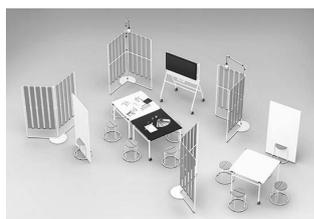


「線」で境界をつくるフレーム家具

ラーニング・コモンズやラウンジなどオープンな広い空間を
“面”で完全に区切るのではなく、“線”で境界をつくるアウトライン。
他の家具と組み合わせて配置することで、アクティビティごとに
最適な場をつくることができます。



アウトライン



図書館情報システム NALIS

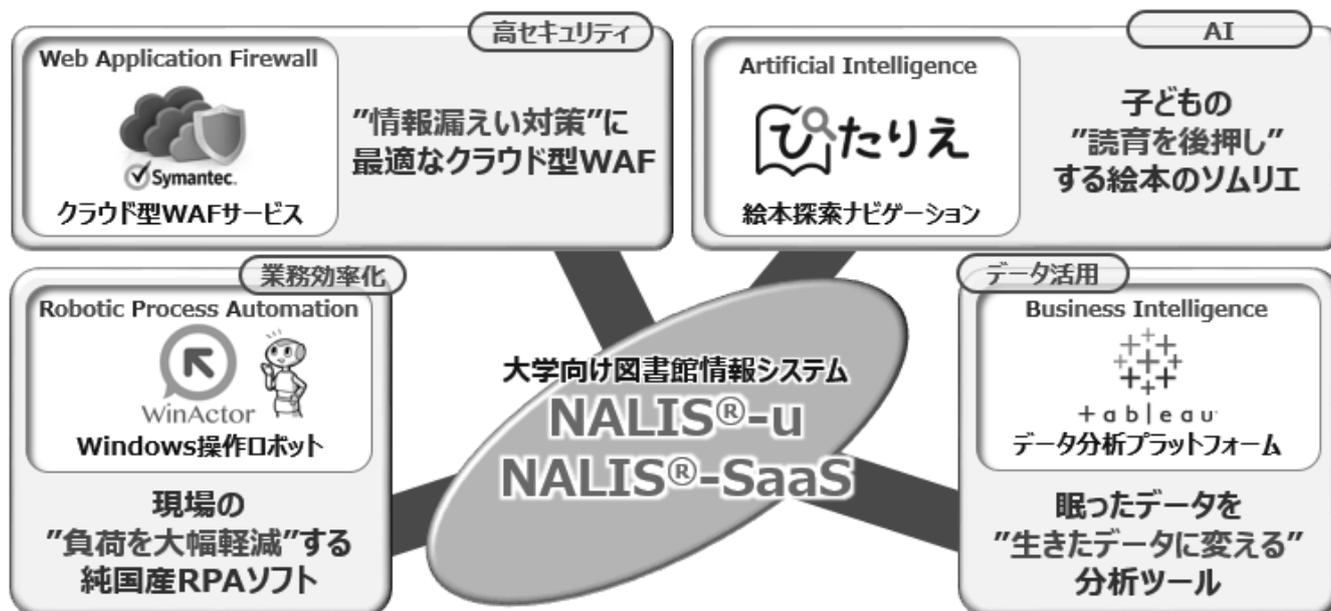
～クラウド型サービス、先進の周辺ソリューションを提供～

株式会社 NTT データ九州

図書館情報システム NALIS は、『堅牢なデータセンタ』、『安全なネットワーク』、『高度なセキュリティ』を柱としたクラウド型サービスを提供します。



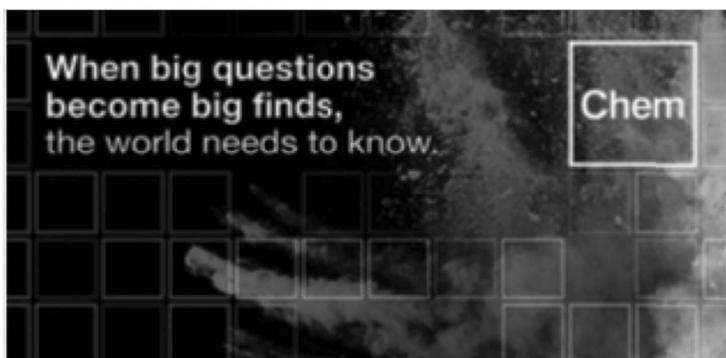
また、先進の周辺ソリューションにより、図書館に新たな付加価値をご提供します。



NTT Data
Trusted Global Innovator

【お問い合わせ先】 株式会社 NTT データ九州
社会基盤事業部 ソフトウェアビジネス統括部
電話 : 092-475-5145
Email : nalis@nttdata-kyushu.co.jp

Cell Pressより Chemのご案内 (物理化学)



Cellの姉妹ジャーナルであるChemは、重要で洞察あふれる研究の公表の場であり、化学や関連分野での基礎研究がいかにも、グローバルな課題への可能性のある解決策を見つける一助となるかを示しています。

Chemには化学や関連分野、もしくは化学と接点がある分野の研究が掲載されています。論文を投稿する際には、著者は国連が定めた以下の10の持続可能な開発目標のいずれかのカテゴリーに論文を分類していただきます。

- Good health and well-being
- Affordable and clean energy
- Clean water and sanitation
- Climate action
- Zero hunger
- Sustainable cities and communities
- Responsible consumption and production
- Industry, innovation, and infrastructure
- Life on land
- Life below water

諮問委員会日本人メンバー

Dr. Kenichiro Atami, Nagoya University
Dr. Takashi Ooi, Nagoya University

Dr. Itaru Hamachi, Kyoto University
Dr. Tamoki Ogoshi, Kanazawa University

日本人研究者の国際共著論文：初年度のChemに掲載された重要論文の一例

Longest C–C Single Bond among Neutral Hydrocarbons with a Bond Length beyond 1.8 Å,
Ishigaki Y., Shimajiri T., Takeda T., Katoono R., Suzuki T.

Endogenous Membrane Receptor Labeling by Reactive Cytokines and Growth Factors to Chase Their Dynamics in Live Cells, Takaoka Y.,
Uchinomiya S., Kobayashi D., Endo M., Hayashi T.,
Fukuyama Y., Hayasaka H., Miyasaka M., Ueda T.,
Shimada I., Hamachi I.

Catalytic Dehydrogenative C–H Imidation of Arenes Enabled by Photo-generated Hole Donation to Sulfonimide, Ito E., Fukushima T., Kawakami T.,
Murakami K., Itami K.

Metal-Organic Cuboctahedra for Synthetic Ion Channels with Multiple Conductance States,
Kawano R., Horike N., Hijikata Y., Kondo M.,
Carné-Sánchez A., Larpent P., Ikemura S., Osaki T.,
Kamiya K., Kitagawa S., Takeuchi S., Furukawa S.

Self-Assembly of M30L60 Icosidodecahedron, Fujita D.,
Ueda Y., Sato S., Yokoyama H., Mizuno N.,
Kumasaka T., Fujita M.

A Modular Strategy for the Direct Catalytic Asymmetric α -Amination of Carbonyl Compounds,
Ohmatsu K., Ando Y., Nakashima T., Ooi T.

Chemに関する詳細はこちらのサイトににてご覧いただけます ▶▶▶ <https://www.cell.com/chem/home>

Elsevier R&D Solutions ScienceDirect

エルゼビア・ジャパン株式会社
〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階
TEL : 03-5561-5034 E-mail : jp.pr@elsevier.com



TELECUBE by OKamura

フルクローズ型ワークブース[テレキューブ by オカムラ]

最高の集中環境をもたらす、フルクローズ型のワークブース



床・壁・天井すべての面が囲われた個室空間。遮音、吸音、照明、換気各機能が室内の快適性を高め、これまでにない集中環境をもたらします。

図書館・大学

Scene



オフィス：デスクエリア



オフィス：ロビー・エントランス



駅・空港

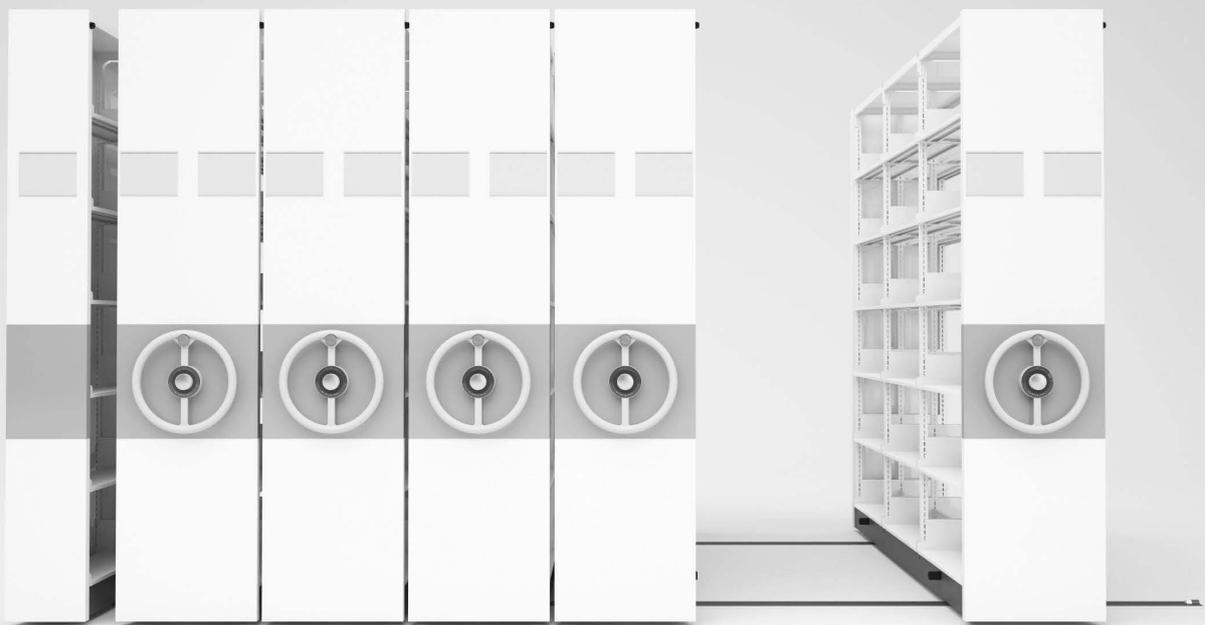
人を想い、場を創る。

OKamura

<https://www.okamura.co.jp/> 株式会社オカムラ 西日本支社 TEL:092-482-8822

空間をデザインする

丸ハンドル式移動棚
slim Zシリーズ 「AKZ」



開架・閉架設備 AKZ・LSA



安心と先進で社会文化に貢献する

金剛株式会社

www.kongo-corp.co.jp

熊本本社 / 熊本市西区上熊本 3 丁目 8-1 TEL(096)355-1111(大代)

九州支店 / 福岡市博多区博多駅前 2-20-15 第 7 岡部ビル 9F

TEL(092)433-3988

支店・営業所 / 仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・岡山・高松・
福岡・北九州・大分・長崎・佐賀・熊本・八代・天草・
宮崎・鹿児島・沖縄・台湾

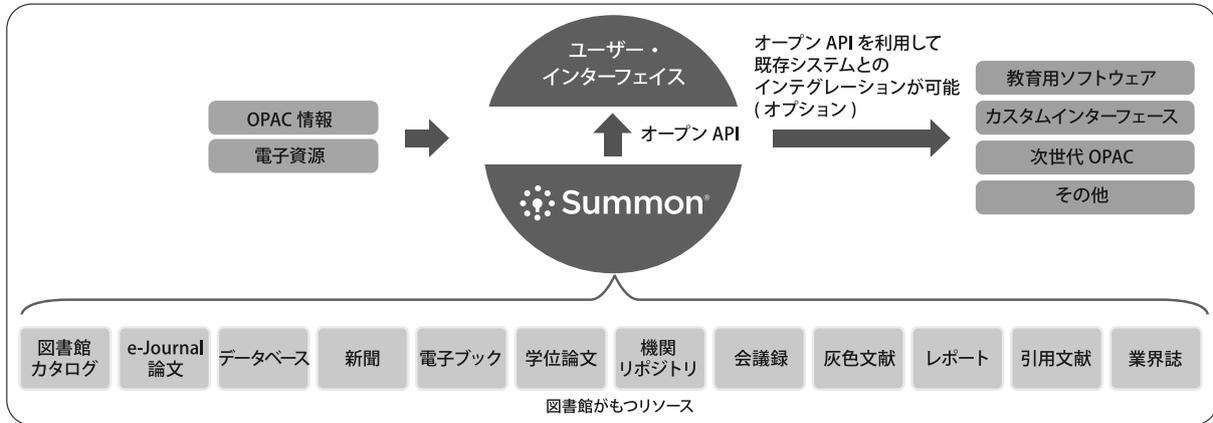




これまで見つけることが困難だった資料でも たった一つの検索窓から瞬時に見つけられます！

Summon は統合検索や次世代 OPAC を越える全く新しい検索サービスです。Google のようなシンプルなインターフェイスから図書館独自の広範囲で信頼性の高い情報へすばやくアクセスすることができます。

図書館の所蔵資料や契約データベース・電子ジャーナル、機関リポジトリ、オープンアクセス誌といった図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせる手法でこれまでにない検索スピードを実現しました。



POINT 1

すべてのリソースを一度に検索

すべてのリソースをたったひとつの検索窓から見つけることができます。現在のインターネットユーザーのニーズを満たす新しい学術情報の検索スタイルを提供します。

POINT 2

信頼のおけるコンテンツだけを検索

検索対象はすべて図書館のコンテンツです。信頼性が高く、しかも入手可能なコンテンツにのみアクセスすることができます。

POINT 3

瞬時に検索結果を表示

図書館で利用できるすべてのリソースのメタデータをあらかじめハーベスティングさせるので、Google なみの検索スピードを実現します。

サンメディアが扱う商品やサービスの最新情報を 動画でご覧いただけます！

サンメディアが扱う商品やサービスの概要や最新トピックスをご紹介する動画を多数公開しています。ぜひアクセスしてみてください！

<https://www.sunmedia.co.jp/e-port/online-support/>



実際のところどうなの？

RemoteXs

新 RefWorks のご紹介

4分でわかる！！！！

ディスカバリーサービス

Summon のご紹介

ProQuest データベースで
オンラインコンテンツを充実させよう！

洋雑誌のフルテキストデータベース

ProQuest のご紹介

必要な雑誌、論文を
効率よく利用したい！

PierOnline

医学系論文検索の入り口
医中誌 Web のご紹介

Power of Science!

～ Faculty Opinions で広がる
発見のチャンス～

今年も学術情報ソリューションセミナーを開催します！

毎年大好評の学術情報ソリューションセミナーを今年も6月に開催いたします。日程やプログラム、開催方法等は決まり次第メールマガジンやホームページ等でお知らせいたします。



研究者が求める新たな論文評価システム

Faculty Opinions

膨大な数の論文から必読の重要文献をすばやくチェックすることで研究効率を改善します

Faculty Opinions は生物学や医学の文献の中から、その分野のトップリサーチャー (Faculty メンバー) が必要な論文を推薦するウェブサービスです。大量の論文の中から必読の重要文献を効率的に探すことができます。トップリサーチャーは全世界から 8,000 人以上選出され、Nature、New England Journal of Medicine、Science をはじめとした 3,500 誌以上を対象に論文を評価しています。

全世界の重要論文をすばやく確認したい

自分が読んだ論文に対する専門家の意見が知りたい

普段読まないジャーナルの論文もチェックしたい



エクスポート機能

論文情報を RefWorks などの文献管理ツールにエクスポートしたり、E-mail で送信したり、お気に入りリストに追加したりできます。



なぜ評価に値する論文であるかが直感的に分かります

*** 論文のランク表示

Facultyメンバーによる評価を視覚的に分かりやすく表示します。

A 各評価員の評価を3段階で表示

★ ★ ★ ...Exceptional
★ ★ ...Very Good
★ ...Good

B Aの星の数を合計した数字が表示されます

20

? 評価された理由

論文がなぜ評価に値するかをFacultyメンバーがカテゴリごとに分類しており、それをアイコンで表示しています。

- Changes Clinical Practice
臨床現場において早く変更されるべきもの
- Confirmation
前に発表されたデータや仮説を確認するもの
- Controversial
議論する価値があるもの
- Good for Teaching
分野においてキーとなる、教育に適したもの
- Interesting Hypothesis
新しいモデルを提示する、興味深い仮説

興味のある分野の論文 Selected Sections
あらかじめ興味のある分野を登録しておくことで一致する文献をすぐに確認できます。

保存した検索条件 Stored Searches

S スマートサーチ SmartSearches

関心のある論文の PubMed ID を登録しておくとおすすめ論文が表示されます。おすすめ論文に対して「Relevant (関連がある)」「Not Relevant (関連がない)」を選んでいくと Faculty Opinions が学習し、より精度の高いおすすめ論文を表示するようになります。



F おすすめ論文検索 Recommended Article Searches

Faculty Opinions で検索した条件を登録しておくことで、簡単に再検索できます。

M PubMed 検索 PubMed Article Searches

Faculty Opinions 内から PubMed 検索した条件を登録しておくことで、簡単に再検索できます。

フォローしている Faculty メンバー Faculty I'm Following

気になる Faculty メンバーを登録しておくことで、新しく論文を評価した際にアラートメールを受け取ることができます。

保存 / フォローした論文 My Saved/Followed Articles

気になる論文を登録しておき、あとで簡単に確認することができます。フォローした論文にコメントが追加されたり新たに推薦されたりした際にアラートメールが届きます。

トライアルのお申込み、お問い合わせは



株式会社サンメディア e-Port カンパニー e-mail : e-port@sunmedia.co.jp

〒164-0012 東京都中野区本町 3-10-3 PORT ビル Tel : 03-3299-1575 Fax : 03-3374-1410

図書館の新設 改修・耐震工事 書架の増設時には

ナカバヤシの書籍移動

- ・図書館の新設、改築による旧図書館からの移転に伴う図書資料の移動
- ・図書館の改修、耐震工事による図書資料の移動
- ・書架の増設、レイアウト変更による図書資料の移動

資料の移動期間を生かして、様々なサービスも一括して行なうことができます

図書装備

資料の移動時に発生する装備の変更も合わせて行えます。

- ・バーコード貼付
- ・ICタグ貼付
- ・分類変更 など



修理製本・資料修復

劣化が激しい資料をお預かりして、資料の修理・修復を行い、新館での美しい資料提供をお手伝いします。



修復前



修復後

燻蒸

燻蒸とは、専用の薬剤により殺カビ・殺虫・殺卵することです。

現地または持ち帰りでの燻蒸作業をお客様のご要望に応じて行います。



図書クリーニング

ホコリ・カビのついたままの資料は新館での保存環境を著しく悪化させます。書庫内での作業のほか、お預かりしての作業も対応します。



保存用品

貴重資料・劣化資料の保存環境を整備する保存用品です。様々なサイズ・仕様を取り揃えています。



環境整備用品の設置

除湿機・地震対策用品など新図書館の館内環境整備にお役立ていただけるアイテムもご用意しています。



ナカバヤシ株式会社

図書館ソリューション営業部

福岡支店 〒812-0051 福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7番11号

TEL 092(641)3661 FAX 092(641)3699

HP:<https://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL:toshokan@nakabayashi.co.jp

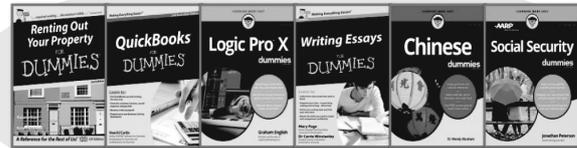
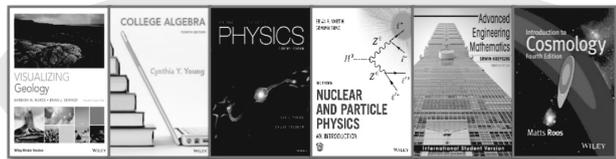
テキスト ベストセラー

Wiley の人気教科書タイトルが好評配信中！
採用校も多い教科書タイトルが多数！！

人文社会学関連

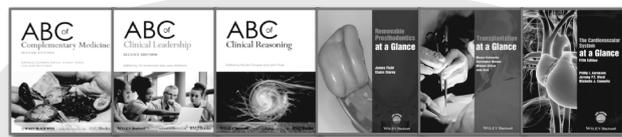


理工学関連



政治、経済、歴史から数学、化学、物理学、生物学等々、幅広い分野から1冊1トピックスで分かりやすく、楽しく入門レベルの知識を提供するシリーズです。

Health & Medical Science シリーズ



At a Glance シリーズや、ABC シリーズといった医学生や若手臨床医などのための Wiley の医療・健康関連のタイトルを配信中！医学・歯学・看護学など幅広い分野を英語で学べます。

詳細はお問合せください。

M MARUZEN-YUSHODO

丸善雄松堂株式会社学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
Tel : 03-6367-6008 Fax:03-6367-6184 e-mail:ebook-i@maruzen.co.jp
営業時間：9：00～17：30（土・日・祝日、年末年始を除く）



紀伊國屋書店 学術電子図書館

KinoDen
Kinokuniya Digital Library

株式会社紀伊國屋書店 九州営業部

福岡営業所 TEL 092-437-5353 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル6F
熊本営業所 TEL 096-322-5666 〒860-0806 熊本市中央区花畑町4-1 太陽生命熊本第2ビル2F
鹿児島営業所 TEL 099-223-4519 〒892-0847 鹿児島市西千石町17-3 太陽生命鹿児島第2ビル8F
沖縄営業所 TEL 098-887-3678 〒903-0804 那覇市首里石嶺町4-99-1 まるしんビル
【本社】電子書籍営業部 TEL 03-5719-2501 e-mail ict_ebook@kinokuniya.co.jp

KinoDenオプション：全文試し読みプラン（DDA）

- 利用者は未購入コンテンツを5分間、全文試し読み！*
 - 図書館は利用統計の取得により選書購入の参考に！
 - 大学図書館で利用者参加型の選書企画として定着！
- *一定額の購入保証で期間限定運用！利用者からのリクエスト機能あり！

KinoDenは、紀伊國屋書店が提供する学術和書電子図書館サービスです。2018年1月にリリース、2020年秋に搭載タイトルは3万点、導入機関数は国内外で280機関を超えました。
読みやすいビューア、未購入タイトルも含めた全文検索や、ほぼ全点を試し読みできる等、長年の経験を活かし「本当に使われる電子図書館」を目指しています。



既刊書から新刊まで数万冊が対象。
電子的な「見計らい」で24時間いつでもどこからでも！

株式会社フレアリンク【監修】 須藤秋良【著】
『スッキリわかるPythonによる機械学習入門』（インプレス、2020年）

ジュンク堂書店

淳久堂書店

移転オープン致しました。

シャンデリアのある素敵なお店になりました。
皆様のご来店をお待ちしております。

丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

お問い合わせ先 E-mail fk-gai@junkudo.co.jp
福岡市中央区大名 1-15-1 天神西通りスクエア 4F
電話・092-738-3405 FAX・092-717-7321

広げます あなたの未来

政府刊行物

探したい本はここで見つかる。
政府刊行物のホームページ
<http://www.gov-book.or.jp/>

政府刊行物サービス・ステーション

天神:福岡市中央区天神 4-5-10(チサン天神 1F) 市役所:福岡市中央区天神 1-8-1(福岡市役所 B1F)
TEL(092)721-4846 TEL(092)722-4861
県庁:福岡市博多区東公園 7-7(福岡県庁 B1F)
TEL(092)641-7838

政府刊行物普及株式会社・福岡県官報販売所
〒810-0001福岡市中央区天神 4-5-17
TEL(092)761-1151 FAX(092)751-0385

STACK RUNNER®
制震 ハンドル式スタックランナー

強固なラック仕様と快適な操作性に加え利用者に対する安全性をさらに強化しました。

利用者の安全を
 第一に考えた
 地震対策
 「制震機能」付

適度なブレーキ力が働き、
 棚の暴走と転倒を防止して
通路を確保

よりよい保管システムを提供する

日本ファイリング

日本ファイリング株式会社
 本社 / 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2
 支店 / 大阪・名古屋 営業所 / 札幌・仙台・広島・福岡

ISO14001
 ISO9001
 認証取得企業

お申込み・お問い合わせ
<http://www.nipponfiling.co.jp>



Importer of academic publications & software

福岡海外株式会社



学術書籍・電子書籍・ジャーナルバックナンバー・データベース販売。

弊社は 1970 年創立以来数多くのお客様に支えていただきながら学術洋書の輸入と販売を行っております。欧米の出版社、取次会社と密に連絡を取り合い新刊情報を収集してお客様にご紹介しております。文系、理系、医学系などすべての分野の書籍を取り扱っております。是非お問い合わせください。

Import and sales of academic foreign books, journals(back numbers), software, and databases

【主な取り扱い出版社 / major publishers】

Springer Nature / Elsevier / John Wiley & Sons / Routledge / Oxford Univ. Press /
 Cambridge Univ. Press .. and more

〒812-0023 福岡市博多区奈良屋町 10 番 3 号

西日本奈良屋ビル

TEL 092-402-2145 / Fax 092-402-2146

<http://fukuoka-kaigai.jimdo.com/>

e-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp

新登場!

**イベント・販促・広報
支援サービス**

マーケティングコンテンツ
作成サービスを
印刷物とオールインワンで
ご提供!!



たすきゅー

「ガチャ」で当てよう!
今話題の
プラズマローゲンサプリ
このデザインQRに
スマホでスキャンしてください!



**アプリの
インストール
不要!!**

※賞品がなくなり次第
終了となります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ミドリ印刷は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



株式会社ミドリ印刷

おかげさまで、ミドリ印刷は
創業53周年を迎えました

本 社 | 〒812-0016 福岡市博多区博多駅南6丁目17番12号
(グループ本部) | TEL 092-292-0300 FAX 092-483-9089

営 業 部 | 〒812-0857 福岡市博多区西月隈1丁目2番11号
(工場部) | TEL 092-441-6747 FAX 092-473-1275



ISO9001



ISO14001



24000053



P-00066



環境部 一工務部



環境部 一工務部



PLs (プラズマローゲン) 事業部

「脳疲労」をシャッキリ。

今話題の
脳健康サプリ
プラズマローゲン BOOCs
スペシャル



九州地区大学図書館協議会誌 第63号

令和3年2月発行

発行 福岡市西区元岡744 九州大学附属図書館内
九州地区大学図書館協議会

T E L (092) 802 - 2470

F A X (092) 802 - 2474

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/qkyogikai/>

